

神戸市立小磯記念美術館  
年報

No. 27

令和2年度

# 目 次

沿革	3
I. 展覧会	
1. 令和2年度 コレクション展	6
2. 令和2年度 特別展	16
II. 普及事業	
1. 出版物など	26
2. 特別展の講演会と関連講座	29
3. 解説会、ギャラリーツアーなど	29
4. オリエンテーション	29
5. 美術講座	29
6. 連携講座・出前講座等	29
7. スタンプラリーの開催	30
8. RIC内3美術館連携事業	30
9. 子供のためのワークショップ	30
10. 大人のためのワークショップ	31
11. 学校との連携	31
12. マンスリーコンサート	34
13. ハイビジョンギャラリー	35
14. 図書コーナー、ミュージアムショップ	35
15. ミュージアムカード(定期券)	35
16. 事業一覧	36
III. アトリエ	36
IV. 収蔵資料	37
1. 令和2年度 収集作品数	38
2. 令和2年度 新収蔵作品・資料	39
3. 館外貸出	39
4. 特別利用	40
V. 予算	41
VI. 入館者数	42
1. 月別入館者数	42
2. 展覧会別入館者数	42
VII. 関係法規	43
VIII. 日誌	49
IX. 建築設備概要	50
X. 神戸市立小磯記念美術館協議会・組織	51

## 沿 革

- 平成元年 6月 小磯良平のご遺族から神戸市へ作品2,094点及びアトリエ、所蔵図書等の寄贈  
8月 小磯記念美術館(仮称)建設懇話会を教育委員会事務局に設置  
9月 小磯記念美術館(仮称)建設計画を策定  
11月 美術館建設準備担当主幹・主査を教育委員会事務局に設置
- 平成2年 2月 「受贈記念特別展・小磯良平展」を開催(神戸市立博物館)  
6月 自治省「地域づくり推進事業」の指定を受ける  
11月 美術館建設に着手
- 平成4年 3月 美術館竣工、神戸市立小磯記念美術館条例を公布  
11月 神戸市立小磯記念美術館条例、同規則を施行  
美術館開館 開館記念第1回特別展「小磯良平の世界」を開催  
12月 第1回「小磯良平大賞展」を開催
- 平成5年 6月 第2回特別展「絵画とモチーフ」を開催  
9月 第3回特別展「カンヴァスの中の女たち」を開催
- 平成6年 10月 第4回特別展「林 重義 没後50年展」を開催  
12月 第2回「小磯良平大賞展」を開催
- 平成7年 1月 阪神・淡路大震災により建物に被害を受け、休館  
8月 館外展「神戸市立小磯記念美術館所蔵 小磯良平展」を開催(神戸阪急ミュージアム)  
10月 美術館を再開館
- 平成8年 4月 第5回特別展「猪熊弦一郎遺作展」を開催  
12月 第3回「小磯良平大賞展」を開催
- 平成9年 10月 第6回特別展「関口俊吾回顧展」を開催
- 平成10年 2月 第7回特別展「受贈記念 小松益喜展」を開催  
4月 第8回特別展「田中忠雄回顧展」を開催  
9月 第9回特別展「没後10年 小磯良平展・小磯芸術の流れ」を開催  
12月 第4回「小磯良平大賞展」を開催
- 平成11年 4月 第10回特別展「叙情の詩歌 脇田和 回顧展」を開催  
10月 第11回特別展「川西英 と神戸の版画展」を開催
- 平成12年 4月 第12回 神戸市受贈記念特別展「川端謹次展」を開催  
9月 第13回特別展「田村孝之介と神戸」を開催  
12月 第5回「小磯良平大賞展」を開催
- 平成13年 2月 第14回特別展「生誕100年 牛島憲之展」を開催  
4月 第15回特別展「明治・大正 神戸生まれの芸術家たち」を開催  
7月 第16回特別展「個人美術館散歩―7人の洋画家―」を開催  
9月 第17回特別展「小磯良平 薬用植物画の表現」を開催
- 平成14年 5月 西村規矩夫館長就任  
6月 第18回特別展「向井潤吉の絵画と写真」を開催  
10月 第19回特別展「小磯良平回顧展」を開催  
12月 第6回「小磯良平大賞展」を開催
- 平成15年 7月 第20回特別展「コレクション大公開」を開催  
10月 第21回特別展「小磯良平の青年時代」を開催
- 平成16年 2月 第22回特別展「岡田謙三展」を開催  
4月 第23回特別展「中西利雄展」を開催

	10月	第24回特別展「没後50年 内田巖展」を開催
	12月	第7回「小磯良平大賞展」を開催
平成17年	7月	第25回特別展 英国王立園芸協会(RHS)創立200周年記念「植物画世界の至宝展」を開催
	9月	第26回特別展「コレクション大公開! Version2」を開催
平成18年	1月	第27回特別展「没後20年 鴨居玲展」を開催
	5月	吉村元雄館長就任
	5月	第28回特別展「受贈記念 石阪春生展」を開催
	8月	第29回特別展「没後20年 荻須高德展」を開催
	10月	第30回特別展「西村元三朗回顧展」を開催
平成19年	4月	第31回特別展「日本近代洋画への道 高橋由一から黒田清輝、青木繁まで」を開催
	9月	第32回特別展「藤島武二と小磯良平展」を開催
	11月	第8回「小磯良平大賞展」を開催
平成20年	4月	第33回特別展「小磯良平 聖書のさしえ展」を開催
	7月	第34回特別展「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」を開催
	9月	第35回特別展「子どものいる風景展」を開催
平成21年	1月	第36回特別展「中西勝展」を開催
	8月	第37回特別展「神戸の美術家 亀高文子とその周辺」展を開催
	10月	第38回特別展「没後35年 宮本三郎展」を開催
平成22年	6月	第39回特別展「画家 岸田劉生の軌跡」展を開催
	9月	第40回特別展「古家新とゆかりの画家たち」展を開催
	11月	第9回「小磯良平大賞展」を開催
平成23年	8月	第41回特別展「没後100年 大下藤次郎展 美しき自然、友人」を開催
	10月	第42回特別展「昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち」展を開催
平成24年	4月	島田康寛館長就任
		第43回特別展「マリー・ローランサンとその時代展～巴里に魅せられた画家たち」を開催
	10月	第44回特別展「開館20周年記念 生誕110年 小磯良平の世界」を開催
平成25年	1月	第45回特別展「自らを見つめる一画家と自画像」を開催
平成25年	5月	第46回特別展「水彩画家 堀江優遺作展—「人間の弱さ」を持つ聖書の人を描き続けて—」を開催
平成25年	7月	第47回特別展「関西学院の美術家～知られざる神戸モダニズム～」を開催
平成25年	10月	第10回「小磯良平大賞展」を開催
平成25年	12月	第48回特別展「あなたが選ぶ小磯良平作品選」を開催
平成26年	6月	第49回特別展「新宮晋 地球の遊び方」を開催
平成26年	10月	第50回特別展「生誕120年 川西英回顧展」を開催
	1月	館内設備の更新工事のため休館（～3月末）
平成27年	4月	岡泰正館長就任
	6月	第51回特別展美術館再開特別企画「コレクション再発見 小磯とゆかりの画家たち」を開催
	9月	第52回特別展「国立美術館巡回展 洋画の大樹が根付くまで」を開催
	11月	第53回特別展「野田弘志展—凍結する時—」を開催
平成28年	8月	第54回特別展「日本近代洋画の巨匠 和田英作展」を開催
	10月	第55回特別展「描かれた花々—小磯良平の植物画を中心に—」を開催
	12月	第56回特別展「パリに生きる パリを描く —M氏秘蔵コレクションによる—」を開催

平成29年7月	第57回特別展「来て、見て、楽しむ！ 小磯良平ベストコレクション」を開催
平成29年9月	第58回特別展「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展」を開催
平成29年11月	第59回特別展「生誕150年記念 藤島武二展」を開催
平成30年4月	第60回特別展「神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション」を開催
平成30年7月	第61回特別展「浜口陽三と南桂子—ふしぎな世界への小さな窓—」を開催
平成30年9月	第62回特別展「没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—」を開催
平成30年11月	屋上防水工事のため休館（平成30年11月26日～令和元年5月17日）
令和元年7月	第63回特別展「神戸の暮らしを“デザイン”する—小磯良平とグラフィックアート—」を開催
令和元年11月	第64回特別展「黄昏の絵画たち—近代絵画に描かれた夕日・夕景—」を開催
令和2年10月	第65回特別展「わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—」を開催
令和2年12月	第66回特別展「至高の小磯良平 大野コレクションのすべて」を開催

# I. 展覧会

## 1. 令和2年度 コレクション展

小磯・ポーズ・デッサン

〈展示室1・2〉

同時開催《婦人像》受贈記念 小磯良平作品選 I

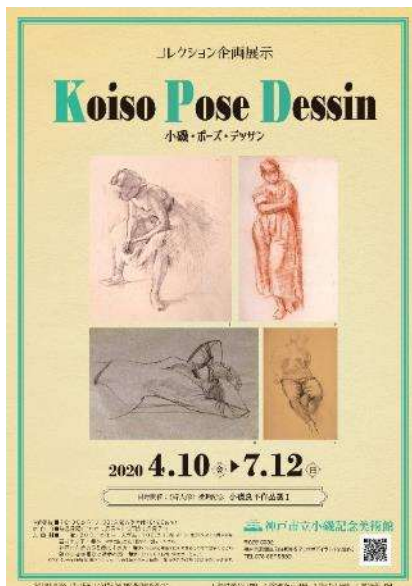
〈展示室3〉

会期: 令和2年4月10日(金)～7月12日(日)[81日間]※当初予定

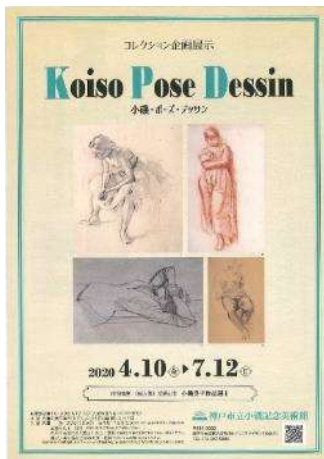
入館者数: 1,352人

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、5月18日まで休館したため、5月19日から48日間の開催となった。

作品の魅力の根幹をなす素描力に注目した展示。ポール・ヴァレリー著『ドガ・ダンス・デッサン』を小磯が愛読していたことにちなみ、同書からの引用と、小磯自身のデッサンについての言葉とともに作品を紹介した。同時開催の小磯良平作品選 I では、小磯が八千草薫を描いた2点の婦人像を特集し、当時の資料とともに展示した。



〈B2ポスター〉



〈A4チラシ〉

〈出品目録〉

コレクション企画展示「小磯・ポーズ・デッサン」(展示室1、2)					
	作品名	備考	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)
<b>1. “的確をきわめた物語”</b>					
1	静物		1917-22年頃	油彩・板	23.5×33.2
2	裸婦		1924年	油彩・キャンバス	72.0×52.5
3	和装婦人		1926年	油彩・キャンバス	91.0×72.0
4	石膏像		1920年頃	木炭・紙	62.5×46.8
5	不退天観音		1926年	鉛筆・紙	44.1×39.6
6	広隆寺不空羂索観世音菩薩		1926年	鉛筆・紙	44.2×39.7
7	夢殿救世観音		1926年	鉛筆・紙	45.2×39.5
<b>2-1. エルネスト・クレソン通18番地</b>					
8	椅子にすわる女		1929年	コンテ・紙	43.8×26.0
9	裸婦		1929年	コンテ・紙	54.1×41.0
10	外国婦人頭部		1929年	コンテ・紙	26.1×43.5
11	裸婦のクロッキー		1929年	コンテ・紙	31.8×49.3
<b>2-2. 山本通1丁目27番地</b>					
12	裸婦		1930年	油彩・キャンバス	79.6×52.8
13	横たわる裸婦		1931年	油彩・キャンバス	73.1×116.8
14	洋和服の二人		1933-34年頃	油彩・キャンバス	91.0×60.2
15	裸婦	寄託	1937年	油彩・キャンバス	130.0×97.0
16	裁縫する婦人		1940年頃	油彩・キャンバス	64.8×40.8
17	桃とクルミのある静物		1939年	油彩・キャンバス	60.8×72.9
18	少女像(人物B)		1941年	油彩・キャンバス	100.0×80.3
19	婦人像		1944年	油彩・キャンバス	73.0×53.0
<b>3. “まさしくデッサン狂に他ならず”</b>					
●ノート					
20	母子像習作		1941年	鉛筆・紙	50.5×31.0
21	裸婦の習作		1959年	サンギース・紙	63.4×48.3
22	裸婦群像		1962年	インク・紙	56.8×76.0
23	模写A		年不詳	鉛筆・紙	35.5×51.2
24	舞台のスケッチ		1972年	鉛筆・紙	56.0×44.6
●踊り子					
25	踊り子		1935年	油彩・キャンバス	72.7×50.6
26	バレリーナ	寄託	1935年	油彩・キャンバス	60.6×50.5
27	踊り子	寄託	1939年	油彩・キャンバス	72.8×60.6
28	踊り子		1940年頃	油彩・キャンバス	71.7×40.6
29	踊り子	寄託	1948年	油彩・キャンバス	65.5×53.0
30	休息するダンサー		1960年代	油彩・キャンバス	106.3×97.3
31	踊り子達		1960年	油彩・キャンバス	80.9×116.8
32	休息		1959年	油彩・紙	77.8×57.5
33	休息する踊り子		1939年	鉛筆・紙	37.3×27.8
34	踊り子の休息		1960年	鉛筆・紙	38.2×56.0
35	ダンスーズ		1962年	インク・紙	56.5×38.0
●ポーズ					
38	二人裸婦		1949年	油彩・キャンバス	129.5×90.0
39	絵を描く男		1952年	油彩・キャンバス	91.0×60.5
40	母子像		1953年	油彩・キャンバス	91.2×72.9
41	働く人		1959年	油彩・キャンバス	111.0×161.0
42	座る二人の裸婦		1960年	油彩・キャンバス	98.5×90.5
43	裸婦(A)		1956年	油彩・紙	77.8×57.4
44	裸婦		1960年	油彩・紙	77.6×57.5
45	横向きの婦人		1949年	木炭・紙	63.5×48.0
46	服を脱ぐ女		1952年	コンテ・紙	63.8×48.0
47	働く人・横を向く男		1953年	パステル、コンテ・紙	62.7×48.2
48	木をかつぐ男		1955年	サンギース・紙	63.8×48.0
49	石を拾う男		1955年	サンギース・紙	64.0×43.5

50	ひざまずく裸婦		1955年	サンギーン・紙	63.6×47.9
51	男の立像		1955年	サンギーン・紙	63.1×47.7
52	婦人座像		1958年	鉛筆・紙	48.0×31.5
53	横たわる婦人		1961年	鉛筆・紙	39.5×54.7
54	腰かける裸婦		年不詳	鉛筆・紙	51.0×35.5
●動物・静物					
55	でんでん虫と花		1940年	水彩、鉛筆・紙	32.0×49.3
56	横向きの牛習作		1945年	墨彩・紙	38.0×53.0
57	牛三態習作		1945年	墨彩・紙	38.0×53.0
58	寝ている犬		1965年	鉛筆・紙	28.0×38.3
59	果物		1966年	鉛筆・紙	27.0×39.5
●肖像					
60	〇氏の像	寄託	1946年頃	油彩・キャンバス	72.8×61.1
61	A氏の像	寄託	1960年頃	油彩・キャンバス	73.4×61.0
62	宮崎辰雄氏像		1980年頃	油彩・キャンバス	60.9×45.7
63	宮崎喜美子氏像		1962年	油彩・キャンバス	60.9×50.3
4. "それでも、彼の手はフォルムを求めていた"					
64	マヌキャン		1972年	油彩・キャンバス	100.2×100.4
65	裸婦		1976年頃	油彩・キャンバス	73.0×53.0
66	リュートを弾く婦人		1975年頃	油彩・キャンバス	91.0×60.5
67	腰かける二人		1985年	油彩・キャンバス	100.4×100.3
68	若い女 (A)		1979年	鉛筆・紙	32.1×24.1
69	赤いマントの外国婦人		1980年	パステル・紙	65.1×49.8
70	花のある室内		1984年	パステル・紙	65.0×50.1
71	婦人像 (I嬢)		1985年	パステル・紙	55.0×37.5

小磯良平作品選 I 出品リスト					
番号	作品名	備考	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)
1	風景		1923年	油彩・キャンバス	60.1×72.4
2	尼寺の廃寺		1923年	油彩・板	23.5×32.8
3	雉鳴きの里		1923年	油彩・板	23.4×32.7
4	南仏ロー・ド・カーニュ		1929年	油彩・板	38.0×45.5
5	夕顔		1929年	油彩・板	30.9×41.1
6	アネモネ		1932年	油彩・キャンバス	52.5×33.0
7	花	寄託	1939年頃	油彩・キャンバス	46.5×50.0
8	婦人像		1956年	油彩・キャンバス	53.1×45.8
9	婦人像		1956年	油彩・キャンバス	45.7×37.9
10	庭		1960年頃	油彩・キャンバス	65.0×45.4
11	庭		1963年	油彩・キャンバス	72.6×60.8
12	しゃくやく		年不詳	油彩・キャンバス	45.5×53.0
13	ばら	寄託	1965年頃	油彩・キャンバス	65.0×53.0
14	静物		年不詳	油彩・キャンバス	96.7×105.8
15	静物(オルゴール人形のある)		1964年	油彩・キャンバス	116.5×91.3
16	リュートのある静物		1966年	油彩・キャンバス	139.4×130.7
17	時計のある静物		1968年	油彩・キャンバス	130.6×80.9
18	翼(『新女苑』表紙画の習作)		1940年頃	油彩・キャンバス	45.5×27.4
19	婦人像		1944年頃	油彩・キャンバス	37.5×31.7
20	K夫人ポートレート		1950年	油彩・キャンバスボード	35.2×26.9
21	プロフィール		1953年	油彩・キャンバス	40.5×31.8
22	舞妓	寄託	1975年	油彩・キャンバス	40.0×40.0
23	神戸風景		1957年	油彩・キャンバス	61.0×73.5
24	静物		1968年	油彩・キャンバス	89.8×89.8
25	花		1970年代	油彩・キャンバス	45.0×53.0
26	リュートとバイオリン		1970年代	油彩・キャンバス	50.0×72.5
27	花のあるベランダ風景		1972年	油彩・キャンバス	80.2×65.2
28	しゃくやく		1974年	油彩・キャンバス	53.0×40.9



## パリ、フランスへの憧れ

〈展示室1・2〉

### 小磯良平作品選 II

終戦75年 従軍画家・小磯良平が見たもの

〈展示室2・3〉

会期: 令和2年7月18日(土)～9月22日(日)[58日間]

入館者数: 3,632人

2020年に東京でオリンピックが開催されることを記念して(2021年に延期)、近代オリンピック発祥の地であるパリをテーマに、小磯良平や神戸ゆかりの画家たちの滞仏作品を展示した。同時開催の小磯良平作品選では、終戦75年の節目に、小磯の戦前・戦中・戦後に焦点を当てた。



〈B2ポスター〉



〈A4チラシ〉

〈出品目録〉

コレクション企画展示「パリ、フランスへの憧れ」(展示室1、展示室2西)						
第1部「洋画家たちとフランス」						
作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法縦×横cm	備考	
Bienvenu! (ようこそ! どうぞ)						
1	小磯良平(1903-1988)	魚(さより)	1928-29年頃	油彩・板	27.0×45.5	
2	小磯良平	青衣の女	1929年	油彩・キャンバス		
3	西村功(1923-2003)	ようこそ! どうぞ	1977年	油彩・キャンバス	162.1×130.3	
描かれたパリの風景・街景						
4	林重義(1896-1944)	テルトルの広場	1929年	油彩・キャンバス	60.5×72.5	寄託作品
5	林重義	モンマルトル	1930年	油彩・キャンバス	50.1×61.1	
6	林重義	場末のパリ	制作年不詳	油彩・キャンバス	44.2×51.8	寄託作品
7	林重義	花売り	制作年不詳	油彩・キャンバス	45.7×53.2	寄託作品
8	田村孝之介(1903-1986)	パスティーユ風景	1952年	パステル・紙	31.6×48.0	
9	元川嘉津美(1905-2005)	モンマルトル風景	1979年	油彩・キャンバス	90.9×73	
10	関口俊吾(1911-2002)	パリ、モンマルトル	1981年	油彩・キャンバス	61.2×46.0	
11	関口俊吾	パリ・リュクサンブルグ	1988年	パステル、インク・紙	34.8×27.1	
12	西村功	メトロホームの人たち	1990年	油彩・キャンバス	80.4×116.6	
13	宮脇成之(1927-2017)	ノートルダム寺院	1985年	エッチング、アクアチント・紙	50.9×39.0	
パリに集う人々 ~ 画家、モデル						
14	角野判治郎(1889-1966)	踊り子A	1928年	油彩・キャンバス	91.2×65.2	
15	角野判治郎	モンパルナスのキキ A	1928年	油彩・キャンバス	73.0×60.5	
16	角野判治郎	白いドレス	1928年頃	油彩・キャンバス	80.5×65.1	
17	林重義	将棋をするピエロとアルルカン	1929-31年頃	油彩・キャンバス	45.7×53.0	
18	古家新	婦人像(パリジェヌ)	1928-29年頃	油彩・キャンバス	72.7×60.6	
19	関口俊吾	婦人座像	1938年	油彩・キャンバス	92.5×65.6	
20	関口俊吾	窓辺の婦人	1938年	油彩・キャンバス	92.4×65.3	
21	関口俊吾	美校のアトリエ	1940年	水彩、コンテ・紙	44.5×30.1	
パリから地方へ ~ フランス各地の風景						
22	三木朋太郎(1898-1971)	カーニュ風景	1927-31年頃	油彩・キャンバス	72.9×60.9	
23	古家新(1897-1977)	ブルターニュの小村	1928年	油彩・キャンバス	50×60.6	
24	古家新	水車小屋のある風景	1928年	油彩・キャンバス	60.7×74.8	
25	古家新	ボートのある風景	1928-29年頃	油彩・キャンバス(板に貼り付け)	38.0×45.8	
26	中西利雄(1900-1948)	クラマール風景	1929年頃	水彩・紙	40.0×50.9	
27	田村孝之介	港	1953年	油彩・キャンバス	91.0×116.8	
28	小磯良平	南仏風景(並木道)	1960年	インク・紙	50.3×65.5	
29	小磯良平	エクス・アン・プロヴァンスのホテルにて	1960年	インク・紙	65.5×50.5	
30	小松益喜(1904-2002)	シャルトル	1958年頃	油彩・キャンバス	49.8×64.3	
31	関口俊吾	秋のテラス(モンペリエにて)	1939年	油彩・厚紙	40.7×32.2	
32	関口俊吾	ブルターニュ・コンカルノー	1954年	油彩・キャンバス	60.2×73.1	
33	関口俊吾	オンフルール	1959年	油彩・キャンバス	81.2×100.5	
34	網谷義郎(1923-1982)	バラード邸の庭	制作年不詳	水彩、鉛筆・紙	26.8×38.0	
フランコフォニー ~ フランスと歴史、文化、言語で繋がる国々にて						
<b>アルジェリア</b>						
35	関口俊吾	ガルダイア(アルジェリ)	1967年	油彩・キャンバス	121.1×95.3	
<b>モロッコ</b>						
36	中西勝(1924-2015)	黒い聖母子	1974年	油彩・キャンバス	162.1×162.1	
37	中西勝	マラケシュ裏通り	1973年	油彩・キャンバス	51.0×66.0	

	<b>ベトナム</b>				
38	関口俊吾	ハノイの少女	1943年	水彩、コンテ・紙	44.8×30.4
39	関口俊吾	宮廷衣裳の高官	1944年	水彩、コンテ・紙	30.2×44.9
	<b>カンボジア</b>				
40	関口俊吾	アンコール カンボジア	1944年	水彩、コンテ・紙	44.7×30.4
41	関口俊吾	僧 プノンベン	1944年	水彩、コンテ・紙	49.0×32.4

第2部「小磯良平とフランス」					
作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法縦×横cm	備考
<b>神戸二中・東京美術学校時代の小磯良平、フランスへの憧れ</b>					
42	小磯良平(1903-1988)	静物	1917-22年頃	油彩・板	23.5×33.2
43	小磯良平	自画像	1926年	油彩・キャンバス	80.2×52.5
資料 小磯良平旧蔵の松方コレクションの西洋絵画絵葉書等					
資料 小磯良平が学生時代に家族に宛てた手紙等					
<b>小磯良平、最初の渡仏 1928-30年</b>					
44	小磯良平	南仏ロー・ド・カーニュ	1929年	油彩・板	38.0×45.5
45	小磯良平	ブルターニュ・ソーゾン港	1928年	油彩・板	
46	小磯良平	夕顔	1929年	油彩・板	30.9×41.1
47	小磯良平	婦人頭部A	1929年	コンテ・紙	42.0×25.0
48	小磯良平	外国婦人頭部	1929年	コンテ・紙	26.2×35.8
49	小磯良平	フランスの女	1929年	コンテ・紙	43.5×25.5
50	小磯良平	婦人頭部	1929年	コンテ・紙	36.1×32.4
資料 小磯良平がフランスから家族に宛てた書簡等					
資料 小磯良平がフランス等で購入した絵葉書					
<b>小磯良平とフランスで交流のあった画家たち</b>					
51	角野判治郎	踊り子 C	1928年	油彩・キャンバス	91.0×72.8
52	古家 新	残雪の丘(南フランス)	1929年	油彩・キャンバス	60.3×72.8
53	中西利雄	フランス風景	1929-30年頃	水彩・紙	38.0×51.1
<b>小磯良平旧蔵のフランス絵画</b>					
54	エドモン＝フランソワ・アマン＝ジャン(1858-1936)	ギリシア人	制作年不詳	インク、水彩、鉛筆・紙	19.4×15.5
55	ジョルジュ・ブラック(1882-1963)(ジャック・ヴィヨンによる版画)	静物	1923年	カラーアクアチント・紙	75.0×36.8
56	モーリス・アスラン(1882-1947)	横臥裸婦	制作年不詳	油彩、水彩・紙	25.3×33.1
57	ラファエル・コラン(1850-1916)	人物	制作年不詳	インク、鉛筆・紙	径30
58	ラファエル・コラン	婦人	制作年不詳	木炭・紙	48.1×44.9
<b>小磯良平、二度目の渡仏 1960年</b>					
59	小磯良平	帆船のある風景	1960年	水彩・紙	30.3×39.9
60	小磯良平	教会	1960年	コンテ・紙	37×53.8
61	小磯良平	ヴァンス・ホテル・ド・プロヴァンス中庭(フランス)	1960年	インク・紙	62.5×49
62	小磯良平	ヴァンス・ホテル・ド・プロヴァンス(フランス)	1960年	インク・紙	66×50.5
63	小磯良平	フランス風景	1960年	コンテ・紙	37.2×53.9
64	小磯良平	オーヴェル風景	1960年	水彩、鉛筆・紙	38.0×46.0
65	小磯良平	南仏風景(街遠望)	1960年	インク・紙	50.6×65.1
66	小磯良平	南仏風景(垣根のある)	1960年	インク・紙	50.6×65.5
67	小磯良平	南仏風景(車と道路)	1960年	インク・紙	50.4×65.5
68	小磯良平	南仏風景(街角)	1960年	インク・紙	50.1×65.4
資料 小磯良平がフランスから家族に宛てた書簡等					

小磯良平作品選Ⅱ - 終戦75年 従軍画家・小磯良平が見たもの - (展示室2東、展示室3)					
作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法縦×横cm	備考
<b>大戦前夜の小磯芸術</b>					
1	小磯良平	バレリーナ	1935年	油彩・キャンバス	60.6×50.5 寄託作品
2	小磯良平	婦人座像	1935-36年頃	鉛筆・紙	49.2×32.0
3	小磯良平	少女像	1935-36年頃	鉛筆・紙	49.1×32.2
4	小磯良平	踊り子	1935年	油彩・キャンバス	72.7×50.6
5	小磯良平	石切場	1936年	油彩・キャンバス	41.1×72.8
6	小磯良平	雑誌を見る二人	1937年	鉛筆・紙	40.5×32.0
7	小磯良平	少女	1938年	油彩・キャンバス	34.9×22.3
<b>日中戦争と小磯良平</b>					
8	小磯良平	兵士	1938-41年頃	鉛筆・紙	31.9×49.4
9	小磯良平	兵士	1938-41年頃	コンテ・紙	63.1×47.8
10	小磯良平	兵士習作	1938-41年頃	鉛筆・紙	32.1×42.0
11	小磯良平	兵士A	1938-41年頃	鉛筆・紙	32.0×24.5
12	小磯良平	兵士B	1938-41年頃	鉛筆・紙	32.0×24.5
13	小磯良平	兵士D	1938-41年頃	コンテ・紙	49.4×64.1
14	小磯良平	兵士F	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1×48.9
15	小磯良平	兵士G	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1×49.1
16	小磯良平	兵士I	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1×49.3
17	小磯良平	兵士J	1938-41年頃	コンテ・紙	64.1×49.1
18	小磯良平	兵士L	1938-41年頃	コンテ・紙	64.2×49.2
19	小磯良平	月光	1939年	パステル、水彩・紙	63.6×45.6
20	小磯良平	馬と兵隊	1939年	パステル、水彩・紙	63.7×45.6
資料 戦時下の絵葉書、画集、従軍関係資料等					
参考 《南京中華門の戦闘》(焼失)パネル					
<b>太平洋戦争と小磯良平</b>					
21	小磯良平	軍人の肖像(「カリジャティ会見図」のためのエスキース)	1942年	油彩・キャンバス	91.0×65.5
22	小磯良平	外国の兵士(「カリジャティ会見図」のためのエスキース)	1942年	油彩・キャンバス	65.2×90.6
23	小磯良平	ボジョネロス戦跡 ボイテンゾルグ夜襲戦	1942年	鉛筆・紙	25.3×38.9
24	小磯良平	ビルマの人(「ビルマ独立式典図」のためのエスキース)	1943年	油彩・キャンバス	72.6×50.2
25	小磯良平	航空母艦龍鳳にて1	1944年	水彩、色鉛筆、鉛筆、コンテ・紙	25.5×36.4
26	小磯良平	航空母艦龍鳳にて2	1944年	水彩、色鉛筆、鉛筆、コンテ・紙	25.5×36
27	小磯良平	航空母艦龍鳳にて3	1944年	水彩、色鉛筆、鉛筆、コンテ・紙	25.5×36.4
28	小磯良平	工場の内部	1944年	色鉛筆・紙	26×37
29	小磯良平	故谷川大尉像	1944年	油彩・キャンバス	41.0×32.0
資料 戦時下の書簡、絵葉書、画集、従軍関係資料等					

戦時下を生きた画家として						
30	小磯良平	沖縄風俗	1938年	鉛筆・紙	48.9×32.4	
31	小磯良平	踊り子	1940年頃	油彩・キャンバス	71.7×40.6	
32	小磯良平	婦人像	1940年頃	鉛筆・紙	46.8×32.0	
33	小磯良平	翼(『新女苑』表紙画)	1940年頃	油彩・キャンバス	45.5×27.4	
34	小磯良平	少女像(人物B)	1941年	油彩・キャンバス	100.0×80.3	
35	小磯良平	神戸北野風景	1941年	鉛筆・紙	25.8×36.6	
36	小磯良平	うめ	1942年	鉛筆・紙	37.0×25.5	
37	小磯良平	母子	1943年	油彩・キャンバス	60.6×50.0	
38	小磯良平	「人間鉱脈」挿絵原画 第18回	1944年	水彩・紙	27.7×30.1	
39	小磯良平	「人間鉱脈」挿絵原画 第35回	1944年	水彩・紙	18.4×27.3	
40	小磯良平	「人間鉱脈」挿絵原画 第36回	1944年	水彩・紙	18.3×27.4	
41	小磯良平	「人間鉱脈」挿絵原画 第49回	1944年	水彩・紙	17.2×21.4	
42	小磯良平	「人間鉱脈」挿絵原画 第59回	1944年	水彩・紙	13.9×17.5	
43	小磯良平	女の顔	1944年	油彩・キャンバス	33.0×24.0	
44	小磯良平	異人館風景	1945年	鉛筆・紙	26.1×36.6	
45	小磯良平	大西八王子農場	1945年頃	鉛筆・紙	25.5×36.5	
46	小磯良平	大西八王子農場にて	1945年	鉛筆・紙	25.5×36.5	
資料 戦時下の美術雑誌等						
終戦、罹災からの再出発						
47	小磯良平	スケッチブック	1946年頃	インク・紙	49.9×35.8	
48	小磯良平	二人の少女	1946年	油彩・キャンバス	79.4×60.0	
49	小磯良平	山椿のある道	1946年	水彩、鉛筆・紙	31.5×24.0	
50	小磯良平	洗濯場	1946年	インク・紙	31.5×47.1	
51	小磯良平	針仕事の老母	1946年	鉛筆・紙	36.6×26.2	
52	小磯良平	「ひとで」挿絵原画 第14回	1946年	墨彩・紙	27.0×24.0	
53	小磯良平	「ひとで」挿絵原画 第17回	1946年	墨彩・紙	27.0×24.0	
54	小磯良平	「ひとで」挿絵原画 第18回	1946年	墨彩・紙	27.0×24.0	
55	小磯良平	「ひとで」挿絵原画 第27回	1946年	墨彩・紙	24.0×27.0	
56	小磯良平	「ひとで」挿絵原画 第30回	1946年	墨彩・紙	27.0×24.0	
57	小磯良平	母子	1946年頃	鉛筆・紙	37.2×27.5	
58	小磯良平	裸婦	1947年	油彩・キャンバス	80.3×53.1	
59	小磯良平	K夫人像	1947年	油彩・キャンバス	80.4×65.5	
60	小磯良平	風景	制作年不詳	油彩・キャンバス	50.1×61.2	寄託作品
61	小磯良平	裸婦	1947年	パステル・紙	33.5×61.0	
62	小磯良平	幼児スケッチ	1947年	コンテ・紙	50.4×33.3	
63	小磯良平	風景	1947年頃	水彩、鉛筆・紙	28.5×37.4	寄託作品
64	小磯良平	少女	1948年	コンテ・紙	47.8×30.1	
65	小磯良平	腰かける少女	1948年	コンテ・紙	48.8×30.0	
66	小磯良平	人物	1948年	油彩・キャンバス	80.5×60.8	
67	小磯良平	雉のある静物	1948年	油彩・キャンバス	50.2×60.2	
68	小磯良平	二人裸婦	1949年	油彩・キャンバス	129.5×90.0	
69	小磯良平	母子像	1949年	パステル・紙	57.4×44.9	
70	小磯良平	K夫人ポートレート	1950年	油彩・キャンバスボード	35.2×26.9	
71	小磯良平	婦人像	1956年	油彩・キャンバス	53.1×45.8	
72	小磯良平	婦人像	1956年	油彩・キャンバス	45.7×37.9	

## 小磯良平作品選Ⅲ

### 〈展示室3〉

同時開催

特別展「わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—」

### 〈展示室1・2・3〉

会期：令和2年10月3日（土）～12月13日（日）〔62日間〕

〈出品目録〉

★同時開催の出品目録は本年報の17頁に掲載。

小磯良平作品選Ⅲ				
	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)
1	風景	1923年	油彩・キャンバス	60.1×72.4
2	裸婦	1924年	油彩・キャンバス	72.0×52.5
3	自画像	1926年	油彩・キャンバス	80.2×52.5
4	夕顔	1929年	油彩・板	30.9×41.1
5	花(アネモネ)	1932年	油彩・キャンバス	52.5×33.0
6	洋和服の二人	1933年	油彩・キャンバス	91.0×60.2
7	踊り子	1935年	油彩・キャンバス	72.7×50.6
8	ビルマの人	1943年	油彩・キャンバス	72.6×50.2
9	二人の少女	1946年	油彩・キャンバス	79.4×60.0
10	二人裸婦	1949年	油彩・キャンバス	129.5×90.0
11	働く人	1959年	油彩・キャンバス	111.0×161.0
12	家族	1958年	油彩・キャンバス	106.0×97.1
13	静物	1964年	油彩・紙	117.0×115.5
14	室内のパレリーナ	1967年	油彩・キャンバス	90.7×90.8
15	リュートを弾く婦人	1975年頃	油彩・キャンバス	91.0×60.5
16	花のあるベランダ風景	1972年	油彩・キャンバス	80.2×65.2
17	婦人像	1956年	油彩・キャンバス	53.1×45.8
18	婦人像	1956年	油彩・キャンバス	45.7×37.9

小磯良平作品選Ⅳ—油彩—

〈展示室3〉

同時開催

特別展「至高の小磯良平—大野コレクションのすべて—」

〈展示室1・2〉

会期：令和2年12月24日（土）～3月21日（日）〔70日間〕

〈出品目録〉

★同時開催の出品目録は本年報の22頁に掲載

小磯良平作品選Ⅳ					
	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	備考
1	裸婦	1924年	油彩・キャンバス	72.0×52.5	
2	自画像	1926年	油彩・キャンバス	80.2×52.5	
3	南仏ロー・ド・カーニュ	1929年	油彩・キャンバス	38.0×45.5	
4	洋和服の二人	1933-34年頃	油彩・キャンバス	91.0×60.2	
5	桃とクルミのある静物	1939	油彩・キャンバス	60.8×72.9	
6	裸婦	1937年	油彩・キャンバス	130.0×97.0	寄託
7	踊り子	1940年頃	油彩・キャンバス	71.7×40.6	
8	裁縫する婦人	1940年頃	油彩・キャンバス	64.8×40.8	
9	ビルマの人(『ビルマ独立式典図』 のためのエスキース)	1943年	油彩・キャンバス	72.6×50.2	
10	婦人像	1944年	油彩・キャンバス	73.0×53.0	
11	二人の少女	1946年	油彩・キャンバス	79.4×60.0	
12	K夫人像	1947年	油彩・キャンバス	80.4×65.5	
13	踊り子	1948年	油彩・キャンバス	65.5×53.0	寄託
14	雉のある静物	1948年	油彩・キャンバス	50.2×60.2	
15	絵を描く男	1952年	油彩・キャンバス	91.0×60.5	
16	母子像	1953年	油彩・キャンバス	91.2×72.9	
17	婦人像	1956年	油彩・キャンバス	53.1×45.8	
18	婦人像	1956年	油彩・キャンバス	49.5×65.5	
19	横向きの裸婦	1955年	油彩・キャンバス	72.8×60.6	寄託
20	室内の少女	1956年	油彩・キャンバス	105.7×97.0	
21	二人裸婦	1956年頃	油彩・キャンバス	80.3×65.2	
22	かぼちゃのある静物	1957年	油彩・キャンバス	98.8×91.0	
23	家族	1958年	油彩・キャンバス	106.1×97.1	
24	リュートのある婦人座像	1960年	油彩・キャンバス	85.1×80.5	
25	座る二人の裸婦	1960年	油彩・キャンバス	117.0×91.2	
26	アトリエにて	1962年	油彩・キャンバス	79.7×79.7	
27	室内のバレリーナ	1967年	油彩・キャンバス	90.7×90.8	
28	時計のある静物	1968年	油彩・キャンバス	130.6×80.9	
29	アトリエにて	1974年	油彩・キャンバス	100.0×100.0	
30	婦人像	1978年頃	油彩・キャンバス	45.5×38.0	
31	舞妓	1975年	油彩・キャンバス	40.0×40.0	寄託
32	人形四体	1971年	油彩・キャンバス	63.0×80.0	寄託
33	マヌキャン	1972年	油彩・キャンバス	100.2×100.4	

## 2. 令和2年度 特別展

**特別展**

**「わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—」**

**(同時開催／小磯良平作品選Ⅲ)**

会期: 令和2年10月3日(土)～12月13日(日)[62日間]  
 入館者数: 5,208人  
 会場: 展示室1・2・3(半室)

東京美術学校洋画科を昭和2年に卒業した画家で結成された上社会(じょうとかい)を網羅的に紹介する初の展覧会として開催した。上社会には、小磯良平、荻須高德、牛島憲之、猪熊弦一郎ら同時代を代表する洋画家のほか、中国、朝鮮半島、台湾からの留学生、病や戦争によって早世した画家が所属した。画風や美術団体というくくりではなく、同級生という共通点で集まった上社会は、画家たちが切磋琢磨することで個性豊かな才能を育む場となったことが分かった。

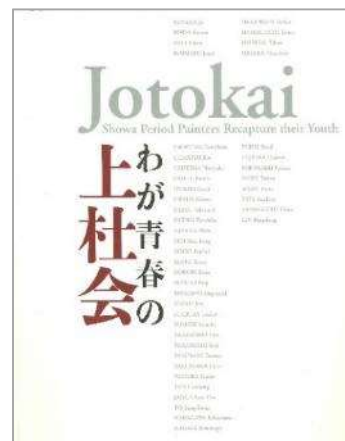
主催／神戸市立小磯記念美術館、豊田市美術館  
 後援／NHK神戸放送局、神戸新交通株式会社



〈B 2ポスター〉



〈A 4チラシ〉



〈図録〉



# 出品目録



\* 作品や資料の順番は、目録と必ずしも一致しません。  
\* 前期展示は10/3～11/8、後期展示は11/10～12/13です。



神戸市立小磯記念美術館 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL 078-857-5880

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横 cm)	所蔵	展示
<b>序-1</b>							
1	藤島 武二	帽子の婦人像	1908 (明治41)	油彩、カンヴァス	59.0×49.0		
2	藤島 武二	裸婦	年不詳	油彩、カンヴァス	63.0×51.0	佐賀県立美術館	
3	藤島 武二	絞剪眉	1927 (昭和2)	油彩、カンヴァス	51.8×39.5	鹿児島市立美術館	
4	和田 英作	カーネーション	1939 (昭和14)	油彩、カンヴァス	90.9×72.9		
5	岡田 三郎助	裸婦	1926 (大正15)	デトランプ、カンヴァス	53.0×33.0	ひろしま美術館	
6	小林 萬吾	銀屏の前	1924 (大正14)	油彩、カンヴァス	91.0×73.0	福富太郎コレクション 資料室	
7	長原 孝太郎	明星	1930 (昭和5)	油彩、カンヴァス	129.5×79.3	岐阜県美術館	
<b>序-2</b>							
8	中西 利雄	盛夏麗日風景	1924 (大正13)	水彩、紙	38.3×51.5		前
9	矢田 清四郎	足拭く女	1926 (大正15)	油彩、カンヴァス	116.7×90.9	島根県立美術館	
10	小磯 良平	T嬢の像	1926 (大正15)	油彩、カンヴァス	116.8×91.0	兵庫県立美術館	
資料		古美術実地見学旅行写真	1926 (大正15)	写真		世田谷美術館	
資料		昭和2年東京美術学校卒業記念写真	1927 (昭和2)	写真		世田谷美術館	
資料		昭和2年東京美術学校西洋画科卒業写真	1927 (昭和2)	写真		世田谷美術館	
資料		藤島教室卒業写真	1927 (昭和2)	写真		世田谷美術館	
資料		和田教室卒業写真	1927 (昭和2)	写真		染木策人氏	
資料		岡田教室卒業写真	1927 (昭和2)	写真		個人蔵	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(×横cm)	所蔵	展示	
<b>I - 1</b>								
11	高野 三三男	人形をもったバリエジヌ(アルルカンとコロンビーズ)	1924-40 (大正13-昭和15)	油彩、カンヴァス	65.5×40.5	目黒区美術館	前	
12	高野 三三男	ヴァイオリンのある静物(コンポジション)	1937頃(昭和12頃)	油彩、カンヴァス	65.5×80.5	目黒区美術館	後	
13	荻須 高德	広告のある家“パリの屋根の下”	1931 (昭和6)	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	稲沢市荻須記念美術館	前	
14	荻須 高德	パリ、モンマルトルの旧役場	1935-36(昭和10-11)	油彩、カンヴァス	66.0×92.5	稲沢市荻須記念美術館	後	
15	山口 長男	室内	1930 (昭和5)	油彩、カンヴァス	92.0×64.8	DIC 川村記念美術館		
16	小堀 四郎	レンブラント作「ベッサベ・オー・パン」の模写	1930 (昭和5)	油彩、カンヴァス	142.0×141.5	豊田市美術館		
17	小磯 良平	ブルターニュ・ソーゾン港	1928 (昭和3)	油彩、板	37.9×45.7	神戸市立 小磯記念美術館		
18	小磯 良平	青衣の女	1929 (昭和4)	油彩、カンヴァス	73.0×60.0	神戸市立 小磯記念美術館		
19	中西 利雄	パリの裏街	1930 (昭和5)	グワッシュ、紙	48.7×60.8	石巻市阿部アーツセンター美術館 (旧プリチストン美術館)	前	
20	中西 利雄	トリエール・シュル・セヌ	1930 (昭和5)	水彩、紙	54.5×69.5	千葉県立美術館	後	
21	中西 利雄	森のカフェ	1931 (昭和6)	水彩、紙	55.5×75.5		後	
22	中西 利雄	モンテカルロ	1931 (昭和6)	水彩、紙	56.5×70.5		前	
23	加山 四郎	寺の小路	1930 (昭和5)	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	目黒区美術館		
24	橋口 康雄	荷馬車のある農家	1932-35(昭和7-10)	エッチング、紙	21.6×27.3	鹿児島市立美術館	前	
25	橋口 康雄	イタリアの修道院	1932-35(昭和7-10)	エッチング、紙	28.0×38.0	鹿児島市立美術館	後	
26	橋口 康雄	シドナム・ウエスト・ヒル	年不詳	鉛筆、水彩、紙	27.9×36.9	鹿児島市立美術館	前	
27	橋口 康雄	ウォンズワースの通り	年不詳	鉛筆、水彩、紙	28.0×36.9	鹿児島市立美術館	後	
28	橋口 康雄	スエズ運河	年不詳	鉛筆、水彩、紙	27.9×36.9	鹿児島市立美術館	前	
29	橋口 康雄	堤防	年不詳	鉛筆、水彩、紙	27.9×36.8	鹿児島市立美術館	後	
資料	小磯 良平	小磯良平から猪熊弦一郎書簡	1927 (昭和2)	書簡		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館		
資料	橋口 康雄	橋口康雄から小堀四郎宛葉書	1928 (昭和3)	葉書		世田谷美術館		
資料		第2回上社会展出品目録	1929 (昭和4)	印刷、紙		豊田市美術館		
資料		第4回上社会洋画展覧会出品会員	1931 (昭和6)	印刷、紙		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館		
資料	猪熊 弦一郎	第4回上社会展ポスター習作	1931 (昭和6)	水彩、インク、紙		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館	後	
資料	猪熊 弦一郎	第4回上社会展ポスター習作	1931 (昭和6)	水彩、インク、紙		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館	前	
資料	猪熊 弦一郎	第4回上社会展ポスター	1931 (昭和6)	印刷、紙		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館	前	
資料	小磯 良平	第5回上社会展ポスター	1932 (昭和7)	印刷、紙		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館	前	
資料		第7回上社会展ポスター	1934 (昭和9)	印刷、紙		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館	後	
資料	顔 水龍	顔水龍から小堀四郎宛葉書	1932 (昭和7)	葉書		世田谷美術館		
資料	小堀 四郎	猪熊弦一郎に贈る欧州情報記載の手帖	1938 (昭和13)	手帖		丸島市猪熊弦一郎 現代美術館		
<b>I - 2</b>								
資料	石井 清夫	《石井清夫スケッチ》『郷土の芸術家たち』館林双書第14巻	1985年刊			館林市立図書館 編集・発行	館林市教育委員会	
30	永田 一脩	『ブラウダ』を持つ蕨原惟人	1928 (昭和3)	油彩、カンヴァス	100.0×80.0		板橋区立美術館寄託	
31	大月 源二	告別	1929 (昭和4)	油彩、カンヴァス	130.3×162.0		山本宣治資料館	
32	大月 源二	どうぞ御心配なく	1930 (昭和5)	墨、紙	25.1×19.6		目黒区美術館	前
33	大月 源二	一寸こころで一息	1930 (昭和5)	墨、水彩、紙	20.5×25.5		目黒区美術館	後
34	大月 源二	燃える支那	1931 (昭和6)	墨、ポスターカラー、紙	24.5×18.3		目黒区美術館	前
35	大月 源二	興亜会議	1931 (昭和6)	水彩、紙	31.3×26.9		目黒区美術館	後
36	青山 襄	伝単 共産党庄迫民衆	1939 (昭和14)	鉛筆、色鉛筆、紙	30.3×21.9		目黒区美術館	
37	染木 照	パラオの少女	1934 (昭和9)	油彩、板	41.0×31.7		染木策人氏	前
38	染木 照	ボナベのカナール(ナニヤーク)	1934 (昭和9)	油彩、板	31.5×41.0		染木策人氏	後
39	染木 照	サタワル島母子	1934頃(昭和9頃)	エッチング、紙	17.8×11.9		町田市立 国際版画美術館	前
40	染木 照	オレアイの老婆	1934頃(昭和9頃)	エッチング、紙	17.8×12.2		町田市立 国際版画美術館	後
41	染木 照	耳環を沢山下げたサタワル島の老婆	1934頃(昭和9頃)	エッチング、紙	18.0×12.1		町田市立 国際版画美術館	後
42	染木 照	ボナベ島ジョカージ、水辺の土人バンガロー	1934頃(昭和9頃)	エッチング、紙	12.0×18.9		町田市立 国際版画美術館	前
43	橋口 康雄	三羽の鳥	年不詳	リトグラフ、紙	31.4×44.5		鹿児島市立美術館	前
44	橋口 康雄	騎乗する婦人	1939 (昭和14)	リトグラフ、紙	35.0×27.5		鹿児島市立美術館	後
45	橋口 康雄	レースの女	1939 (昭和14)	リトグラフ、紙	34.9×26.1		鹿児島市立美術館	前
46	橋口 康雄	眠る女	年不詳	リトグラフ、紙	27.5×39.8		鹿児島市立美術館	後
47	杉浦 俊雄	浜名湖震望	1933 (昭和8)	油彩、カンヴァス	89.6×145.5		豊橋市美術博物館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵	展示
48	石井 清夫	伊豆風景	1933 (昭和8)	油彩、カンヴァス	60.5×73.0	群馬県立館林高等学校	
49	大丸 順衛	女の顔	1920-30代(大正9-昭和5年代)	油彩、カンヴァス	60.5×50.0		
50	大丸 順衛	永眠一父市郎次	1926 (大正15)	油彩、カンヴァス	50.5×60.4		
51	高橋 弘二	騎楼のある街	1920-30代(大正9-昭和5年代)	油彩、板	23.8×33.0		
52	森 達雄	芥屋海岸	1920-30代(大正9-昭和5年代)	油彩、板	23.7×33.1		
53	岡田 謙三	室内	1936 (昭和11)	油彩、カンヴァス	130.3×97.2	秋田市立千秋美術館	
54	山口 長男	池	1936 (昭和11)	油彩、カンヴァス	65.3×92.0	東京国立近代美術館	
55	牛島 憲之	秋川	1934 (昭和9)	油彩、カンヴァス	89.5×145.5	熊本県立美術館	
56	矢田 清四郎	黒扇を持てる女	1932 (昭和7)	油彩、カンヴァス	144.8×109.5	個人蔵 (島根県立美術館寄託)	
57	小磯 良平	着物の女	1936 (昭和11)	油彩、カンヴァス	90.9×72.7	神戸市立小磯記念美術館	
資料	山口 長男	山口長男から大丸順衛宛葉書	1929 (昭和4)	葉書			
資料	小磯 良平・竹中 郁	小磯良平と竹中郁から大丸順衛宛絵葉書	1929 (昭和4)	葉書			
資料	日高 政栄	日高政栄から大丸順衛宛葉書	1924 (大正13)	葉書			
資料	日高 政栄	日高政栄から大丸順衛宛葉書	1927 (昭和2)	葉書			
資料	植松 治郎	植松治郎から大丸順衛宛葉書	1929 (昭和4)	葉書			
資料	植松 治郎	植松治郎から大丸順衛宛絵葉書	1929 (昭和4)	葉書			
資料	植松 治郎	植松治郎から大丸順衛宛絵葉書	1931 (昭和6)	葉書			
資料	猪熊 弦一郎	猪熊弦一郎から大丸順衛宛絵葉書	1931 (昭和6)	葉書			
資料	大丸 順衛	大丸順衛の写真を用いた絵葉書	1927(1928年の年賀状用)	写真			
資料	大丸 順衛	大丸順衛から小堀四郎宛絵葉書	1932頃 (昭和7頃)	葉書		世田谷美術館	
<b>I - 3</b>							
58	小磯 良平	化粧	1936 (昭和11)	油彩、カンヴァス	161.0×111.0	神戸市立小磯記念美術館寄託(平成15年度武田薬品工業株式会社より寄託)	
59	猪熊 弦一郎	馬と裸婦	1936 (昭和11)	油彩、カンヴァス	182.3×291.5	愛知県美術館	
60	中西 利雄	人物	1936 (昭和11)	水彩、カンヴァス	117.0×91.0	千葉県立美術館	前
61	中西 利雄	人物(A)	1935 (昭和10)	水彩、カンヴァス	116.6×90.4	豊橋市美術博物館	後
62	中西 利雄	婦人帽子店	1935 (昭和10)	水彩、カンヴァス	105.0×125.0	東京国立近代美術館	前
63	中西 利雄	夏の海岸	1936 (昭和11)	水彩、カンヴァス	70.0×97.0	東京国立近代美術館	後
<b>II - 1</b>							
64	小磯 良平	兵士C	1938-41頃(昭和13-16頃)	水彩、コンテ、紙	64.0×48.9	神戸市立小磯記念美術館	前
65	小磯 良平	兵士E	1938-41頃(昭和13-16頃)	水彩、コンテ、紙	63.9×49.0	神戸市立小磯記念美術館	後
66	小磯 良平	兵士H	1938-41頃(昭和13-16頃)	水彩、コンテ、紙	64.0×49.1	神戸市立小磯記念美術館	前
67	小磯 良平	兵士K	1938-41頃(昭和13-16頃)	水彩、コンテ、紙	63.9×49.0	神戸市立小磯記念美術館	後
68	小磯 良平	中国風景	1938 (昭和13)	鉛筆、紙	32.0×49.0	神戸市立小磯記念美術館	前
69	小磯 良平	風景	1938頃 (昭和13頃)	水彩、鉛筆、紙	31.7×49.3	神戸市立小磯記念美術館	後
70	岡田 謙三	ラマ寺	1941 (昭和16)	油彩、カンヴァス	73.0×91.5	横浜美術館	
71	荻須 高德	熱河喇嘛廟	1941 (昭和16)	油彩、カンヴァス	65.0×92.0	稲沢市荻須記念美術館	
72	猪熊 弦一郎	長江埠の子供達	1941 (昭和16)	油彩、カンヴァス	130.5×194.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
73	小磯 良平	日緬条約調印図	1944 (昭和19)	油彩、カンヴァス	191.5×254.7	東京国立近代美術館 (猪熊弦一郎作品)	
74	高野 三三男	中国の店先	1944 (昭和19)	鉛筆、紙	18.3×25.7	高野耀子氏	前
75	高野 三三男	安慶の塔	1944 (昭和19)	水彩、鉛筆、紙	25.0×33.5	高野耀子氏	後
76	高野 三三男	九江 7月1日	1944 (昭和19)	水彩、鉛筆、紙	24.9×33.5	高野耀子氏	前
77	高野 三三男	岳州 7月21日	1944 (昭和19)	鉛筆、紙	25.8×36.0	高野耀子氏	後
78	高野 三三男	吾が宿舎 於衡陽	1944 (昭和19)	墨、紙	34.0×24.4	高野耀子氏	前
79	高野 三三男	昭和19年9月9日	1944 (昭和19)	水彩、墨、紙	24.7×33.6	高野耀子氏	後
資料	猪熊 弦一郎	ビルマ従軍の際に撮った写真	1943 (昭和18)	写真		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
資料	猪熊 弦一郎	ビルマ従軍の際に撮った写真	1943 (昭和18)	写真		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
資料	猪熊 弦一郎	ビルマ従軍の際に撮った写真	1943 (昭和18)	写真		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
資料	猪熊 弦一郎	ビルマ従軍の際に撮った写真	1943 (昭和18)	写真		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
資料	猪熊 弦一郎	ビルマ従軍の際に撮った写真	1943 (昭和18)	写真		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
資料	猪熊 弦一郎	ビルマ従軍の際に撮った写真	1943 (昭和18)	写真		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)	所蔵	展示
<b>II - 2</b>							
80	牛島 憲之	雨	1943 (昭和18)	油彩、カンヴァス	65.0×91.0	個人蔵(フジカワ画廊協力)	
81	岡田 謙三	農婦	1944 (昭和19)	油彩、カンヴァス	45.2×38.1	秋田市立千秋美術館	前
82	岡田 謙三	宮城の晩秋	1944 (昭和19)	油彩、カンヴァス	45.3×64.2	秋田市立千秋美術館	後
83	猪熊 弦一郎	神奈川県津久井郡吉野町 大房家疎開の時の八畳部屋	1945 (昭和20)	インク、紙	22.2×24.1	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	前
84	猪熊 弦一郎	神奈川県津久井郡吉野町 大房家庭 戦中疎開先スケッチ	1945 (昭和20)	インク、紙	24.8×26.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	後
85	猪熊 弦一郎	6.23 みどりちゃん	1945 (昭和20)	インク、紙	25.7×35.9	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	前
86	猪熊 弦一郎	題名不明(8月14日のスケッチ 猫)	1945 (昭和20)	インク、紙	35.9×25.7	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	後
87	猪熊 弦一郎	題名不明(8月14日のスケッチ)	1945 (昭和20)	インク、紙	25.7×36.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	前
88	猪熊 弦一郎	題名不明(9月20日のスケッチ)	1945 (昭和20)	水彩、インク、紙	31.3×23.7	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	後
89	小堀 四郎	冬の花束	1946 (昭和21)	油彩、カンヴァス	60.8×50.2	豊田市美術館	
90	中西 利雄	新緑(沢井村)	1946 (昭和21)	水彩、紙	55.6×75.0		前
91	中西 利雄	庭先(沢井村)	1946 (昭和21)	水彩、紙	38.0×57.0		後
<b>III - 1</b>							
92	中西 利雄	室内(B)	1946 (昭和21)	水彩、紙	49.7×65.5		前
93	中西 利雄	曇り日の離宮と駅	1947 (昭和22)	水彩、紙	55.0×74.5	千葉県立美術館	後
94	牛島 憲之	炎昼	1946 (昭和21)	油彩、カンヴァス	121.0×60.5	京都国立近代美術館	
95	加山 四郎	秋の庭	1951 (昭和26)	油彩、カンヴァス	73.0×91.1	横浜美術館	
96	岡田 謙三	窓辺(ノクターン)	1948 (昭和23)	油彩、カンヴァス	193.8×145.5	愛知県美術館	
97	近藤 啓二	父の帽子を持つ子	1950 (昭和25)	油彩、カンヴァス	92.0×65.0		
98	高野 三三男	デコちゃん(高峰秀子)	1953 (昭和28)	油彩、カンヴァス	145.2×112.1	目黒区美術館	
99	荻須 高德	メニルモンタン	1955 (昭和29)	油彩、カンヴァス	65.3×80.3	稲沢市荻須記念美術館	
100	小磯 良平	音楽	1954 (昭和28)	油彩、カンヴァス	116.8×91.2	神戸市立小磯記念美術館	
101	牛島 憲之	まるいタンク	1957 (昭和32)	油彩、カンヴァス	72.7×116.7	熊本県立美術館	
102	岡田 謙三	入江	1973 (昭和48)	油彩、カンヴァス	207.5×157.5	京都国立近代美術館	
103	山口 長男	三ツノ円A	1949 (昭和24)	油彩、カンヴァス	195.0×300.0	豊田市美術館	
104	猪熊 弦一郎	Water Shores A	1970 (昭和45)	アクリル、カンヴァス	203.3×178.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
<b>III - 2</b>							
105	島野 重之	室内	1954 (昭和29)	油彩、カンヴァス	112.0×145.5	滋賀県立近代美術館	
106	島野 重之	婦人像	1963 (昭和38)	油彩、カンヴァス	145.5×112.1	滋賀県立近代美術館	後
107	近藤 啓二	エチオピアの乙女	1961 (昭和36)	油彩、カンヴァス	98.5×71.3	近藤 珠江氏	
108	菱田 武夫	婦人座像	1963 (昭和38)	油彩、カンヴァス	116.7×91.5	飯田市美術博物館	前
109	荻須 高德	オ・モカ・シャロンヌ	1976頃(昭和51頃)	油彩、カンヴァス	81.0×100.0	稲沢市荻須記念美術館	
110	矢田 清四郎	五月の出雲路	1975 (昭和50)	油彩、カンヴァス	128.2×160.0	個人蔵	
111	深井 修次	引潮	1979 (昭和54)	油彩、カンヴァス	45.5×53.0		
112	青山 襄	静物	1981 (昭和56)	油彩、カンヴァス	61.0×72.8	島根県立美術館	
113	荻野 暎彦	高地	1992 (平成4)	油彩、板	37.7×45.4		
114	小磯 良平	御影の風景	1986 (昭和61)	油彩、カンヴァス	100.0×72.8	神戸市立小磯記念美術館	
115	水上 信雄	黒い服	1987 (昭和62)	油彩、カンヴァス	91.0×60.7		
116	山口 長男	屏形	1963 (昭和38)	油彩、合板	182.0×364.0	愛知県美術館	
117	高島 功	ヨガ	1961 (昭和36)	油彩、板	162.0×130.0	田中律子氏	
118	藤岡 一	かやつり草	1972 (昭和47)	油彩、カンヴァス	130.8×162.5	北九州市立美術館	
119	岡田 謙三	静	1982 (昭和57)	油彩、カンヴァス	80.0×99.5	秋田市立千秋美術館	
120	小堀 四郎	滝・動中静(命の振源)	1991 (平成3)	油彩、カンヴァス	194.0×112.2	豊田市美術館	
121	猪熊 弦一郎	お晴れた一日	1992 (平成4)	アクリル、カンヴァス	136.0×122.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	
122	牛島 憲之	青田	1992 (平成4)	油彩、カンヴァス	65.2×91.0	個人蔵(フジカワ画廊協力)	

次回の  
展覧会

関西初公開

至高の小磯良平 大野コレクションのすべて

小磯良平作品選IV

—油彩—

## 特別展

# 「至高の小磯良平 大野コレクションのすべて」

(同時開催／小磯良平作品選Ⅳ)

会期：令和2年12月24日（木）～令和3年3月21日（日）〔70日間〕

入館者数：7,734人

会場：展示室1・2

株式会社大野石油店が所蔵する小磯良平作品359点から厳選した92点を展示した。女性像の優品が多く、小磯の画業を網羅する作品群を所蔵するという大野コレクションの特徴を生かし、《化粧する舞妓》等を広報に使用し、展示は年代順の構成とした。同コレクションの全貌が関西で公開されるのは本展がはじめてであり、普段小磯作品に親しんでいる神戸の方にも、新鮮な気持ちで鑑賞を楽しんでいただけた。また、展覧会を通して館外所蔵の小磯作品の調査が進むとともに、同コレクションを管理する大野ギャラリー学芸員より小磯研究に新たな観点が示された。

主催／神戸市立小磯記念美術館、神戸新聞社  
後援／NHK神戸放送局、神戸新交通株式会社、サンテレビジョン、ラジオ関西  
協賛／一般財団法人みなと銀行文化振興財団  
協力／株式会社 大野石油店



〈B2ポスター〉



〈B3ポスター〉



〈A4チラシ〉



〈図録〉



# 至高の小磯良平

大野コレクションのすべて

Koiso Ryohei : Splendid Works from Ohno Collection

2020年12月24日(木)～2021年3月21日(日)

List of Works

主 催 ◆ 神戸市立小磯記念美術館、神戸新聞社  
 後 援 ◆ NHK神戸放送局、神戸新交通株式会社、サンテレビジョン、ラジオ関西  
 協 賛 ◆ 一般財団法人みなと銀行文化振興財団  
 協 力 ◆ 株式会社 大野石油店

出品目録 \* 作品や資料の番号は、展示順と必ずしも一致しません。  
 \* すべて大野ギャラリー所蔵の小磯良平作品です。

No.	作品名 Title	制作年 Date	技法・材質 Technique and material	寸法 Size (縦×横 cm)
<b>第1章 様式の確立と戦争の時代 1938～45年</b>				
1	バレリーナ Ballerina	昭和8年頃 c.1933	石版・紙 Lithograph on paper	43.0×32.5 (64.0×47.0)
2	和装婦人 Woman in kimono	昭和8年 1933	石版・紙 Lithograph on paper	52.5×35.0 (55.5×39.0)
3	婦人横顔 Profile of a woman	昭和9年頃 c.1934	石版・紙 Lithograph on paper	27.0×21.0 (47.0×32.0)
4	フェルナンドの肖像 Portrait of Fernand	昭和10年 1935	石版・紙 Lithograph on paper	49.3×35.6 (59.0×39.6)
5	婦人像 Portrait of a woman	昭和13年頃 c.1938	油彩・キャンバス Oil on canvas	60.5×50.0
6	婦人像 Portrait of a woman	昭和13年 1938	油彩・キャンバス Oil on canvas	53.0×45.5
7	婦人 Woman	昭和13年 1938	鉛筆・紙 Pencil on paper	48.6×31.8
8	婦人 Woman	昭和13年頃 c.1938	鉛筆・紙 Pencil on paper	40.0×24.5
9	読書 Reading	昭和14年 1939	油彩・キャンバス Oil on canvas	60.5×41.0
10	婦人二人 Two women	昭和17年 1942	鉛筆、パステル、水彩・紙 Pencil, pastel and watercolor on paper	29.0×46.0
11	馬 Horse	昭和14年 1939	コンテ、水彩・紙 Conté and watercolor on paper	49.5×65.5
12	北京にて(兵隊) In Beijing (Soldier)	昭和15年 1940	鉛筆、コンテ・紙 Pencil and conté on paper	32.5×50.0
13	兵隊(B) Soldiers(B)	昭和16年 1941	鉛筆、コンテ、水彩・紙 Pencil, conté and watercolor on paper	34.8×52.2
14	昭南にて(富士ホテル)シンガポール Hotel Fuji in "Shonan" (Singapore)	昭和18年 1943	水彩、鉛筆・紙 Watercolor and pencil on paper	30.5×47.0
<b>第2章 あらたな可能性をもとめて—古典と抽象— 1945～70年</b>				
15	婦人像 Portrait of a woman	昭和23年頃 c.1948	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×38.0
16	椅子に寄る踊り子(少女像) Dancer leaning on a chair (Portrait of a girl)	昭和23年 1948	油彩・キャンバス Oil on canvas	72.5×61.0
17	婦人像 Portrait of a woman	昭和28年 1953	パステル・紙 Pastel on paper	63.5×48.2
18	版画のための習作 Study for the lithograph "Two women"	昭和30年 1955	コンテ・紙 Conté on paper	65.0×50.0
19	二人の女 Two women	昭和30年 1955	石版・紙 Lithograph on paper	63.0×48.5 (66.5×50.5)
20	二人の女-B Two women-B	昭和30年 1955	石版・紙 Lithograph on paper	63.0×48.5 (66.5×50.5)
21	裸婦群像 Group of nude women	昭和30年 1955	サンギーン・紙 Sanguine on paper	63.5×48.0
22	女 Woman	昭和31年 1956	木炭・紙 Charcoal on paper	64.0×48.0
23	男(後向き) Man (His back)	昭和31年 1956	サンギーン・紙 Sanguine on paper	65.0×50.0
24	鉸をもつ男 Man holding scissors	昭和31年 1956	サンギーン、コンテ・紙 Sanguine and conté on paper	64.0×48.0
25	化粧する舞妓 Maiko making her toilette	昭和33年 1958	油彩・キャンバス Oil on canvas	60.6×50.0
26	舞妓 II Maiko II	昭和43年 1968	エッチング、アクアチント・紙 Etching and aquatint on paper	36.0×28.8 (50.5×44.3)

No.	作品名 Title	制作年 Date	技法・材質 Technique and material	寸法 Size (横×縦cm)
27	舞妓Ⅰ-1 Maiko I-1	昭和51年 1976	石版・紙 Lithograph on paper	55.5×44.5(69.0×53.5)
28	舞妓Ⅱ-3 Maiko II-3	昭和51年 1976	石版・紙 Lithograph on paper	55.0×35.5(69.0×52.5)
29	フランス女の顔 Faces of a French woman	昭和35年 1960	インク・紙 Ink on paper	65.5×50.5
30	フランスの女 Studies of a French woman	昭和35年 1960	インク、水彩・紙 Ink and watercolor on paper	65.5×50.5
31	アパルトマンの室内 Interior of an apartment	昭和35年 1960	コンテ・紙 Conté on paper	54.0×37.0
32	エッフェル塔遠眺 Distant view of the Eiffel Tower, Paris	昭和35年 1960	鉛筆、水彩・紙 Pencil and watercolor on paper	54.0×37.0
33	南仏風景(山の上の教会) Landscape of South France (Church on the mountain)	昭和35年 1960	インク・紙 Ink on paper	50.0×65.5
34	ローマ Landscape of Rome	昭和35年 1960	インク、水彩・紙 Ink and watercolor on paper	47.5×66.5
35	ヴェニスの大運河 The Grand Canal, Venice	昭和35年 1960	インク、水彩・紙 Ink and watercolor on paper	48.0×65.5
36	婦人群像 Group of women	昭和35年 1960	油彩・厚紙 Oil on board	63.5×63.5
37	踊り子 Dancers	昭和35年 1960	油彩・厚紙 Oil on board	58.0×77.0
38	受難 Suffering	昭和35年 1960	木炭、サンギーマス・紙 Charcoal and sanguine on paper	65.0×63.0
39	婦人(半裸) Woman (Semi-nude)	昭和35年 1960	木炭・紙 Charcoal on paper	63.5×48.0
40	背中の裸婦 Back of nude woman	昭和36年 1961	サンギーマス、白コンテ・紙 Sanguine and white conté on paper	32.5×50.0
41	和服の婦人 Woman in kimono	昭和37年 1962	鉛筆・紙 Pencil on paper	56.0×38.0
42	D嬢の像 Portrait of Miss. D	昭和37年 1962	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×38.0
43	花と四つの顔 Flower and four faces	昭和38-39年 1963-64	エッチング・紙 Etching on paper	19.8×24.7(31.5×40.3)
44	バレリーナ群像(a) Group of ballerinas(a)	昭和43-44年 1968-69	エッチング、アクアチント・紙 Etching and aquatint on paper	46.3×36.1(65.3×50.3)
45	読書(C) Reading(C)	昭和43-44年 1968-69	エッチング、メゾチント・紙 Etching and mezzotint on paper	28.7×15.9(50.3×41.0)
46	女の顔 Face of a woman	昭和43年 1968	鉛筆・紙 Pencil on paper	38.5×28.0
47	広目天(戒壇院) Komokuten (Virupaksa), Kaidan-in temple	昭和42年 1967	鉛筆・紙 Pencil on paper	33.0×24.0

### 第3章 伝統につらなる—赤坂離宮壁画— 1970～75年

48	パンとブドウ酒 Bread and wine	昭和44年 1969	油彩・キャンバス Oil on canvas	47.5×65.1
49	少女像 Portrait of a girl	昭和45年 1970	油彩・キャンバス Oil on canvas	61.0×50.0
50	踊り子 Dancer	昭和45年 1970	油彩・キャンバス Oil on canvas	50.0×43.0
51	腰かけるバレリーナ Sitting ballerina	昭和46年 1971	インク・紙 Ink on paper	65.0×50.0
52	白川女 Shirakawano(women from Kita-Shirakawa in Kyoto who sell flowers)	昭和43年 1968	パステル・紙 Pastel on paper	63.5×49.0
53	白川女 Shirakawano(women from Kita-Shirakawa in Kyoto who sell flowers)	昭和47年 1972	パステル・紙 Pastel on paper	65.0×50.0
54	外国婦人 Foreign woman	昭和45年 1970	パステル・紙 Pastel on paper	60.3×43.8
55	外国婦人 Foreign woman	昭和45年 1970	パステル・紙 Pastel on paper	64.0×48.0
56	西洋婦人(ベルナテット) Foreign woman (Bernadette)	昭和45年 1970	パステル・紙 Pastel on paper	59.5×44.5
57	緑の服の外国婦人 Foreign woman in green dress	昭和47年 1972	パステル・紙 Pastel on paper	65.0×50.0
58	外国婦人 Foreign woman	昭和47年 1972	パステル・紙 Pastel on paper	65.0×50.0
59	人物 Figure	昭和48年 1973	油彩・キャンバス Oil on canvas	60.5×60.5

No.	作品名 Title	制作年 Date	技法・材質 Technique and material	寸法 Size(縦×横)
60	オランダ人形 Dutch doll	昭和45年頃 c.1970	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×37.9
61	マネキヤンと西洋人形(B) Mannequin and western dolls(B)	昭和47年 1972	油彩・キャンバス Oil on canvas	90.0×90.0
62	フランス人形の顔(メゾチント) Face of French doll(Mezzotint)	昭和45-46年 1970-71	メゾチント・紙 Mezzotint on paper	14.2×12.4 (30.9×28.0)
63	フランス人形(二体) Two French dolls	昭和45年 1970	エッチング・紙 Etching on paper	44.0×36.0 (65.0×50.2)
64	音楽(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Music"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	80.0×56.0
65	絵画(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Painting"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	80.0×65.0
66	室内(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Interior study of "Music"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	65.0×50.0
67	音楽(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Music"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	63.0×48.5
68	音楽(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Music"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	61.0×47.5
69	絵画(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Painting"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	65.0×50.0
70	絵画(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Painting"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	64.0×49.0
71	絵画(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Painting"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	65.0×50.0
72	絵画(迎賓館赤坂離宮のためのエスキース) Study of "Painting"	昭和48-49年 1973-74	パステル・紙 Pastel on paper	60.7×45.5

#### 第4章 写実の洗練と簡潔をめざして 1975～88年

73	人形 Doll	昭和50年 1975	油彩・キャンバス Oil on canvas	14.0×11.0
74	人形二体(木口木版) Two dolls(Wood engraving)	昭和50-51年頃 c.1975-76	木版・紙 Wood engraving on paper	17.2×22.9 (30.5×37.0)
75	人形 Doll	昭和52年頃 c.1977	木版・紙 Woodcut on paper	40.0×33.0 (46.0×37.0)
76	裸婦 Nude woman	昭和51年 1976	石版・紙 Lithograph on paper	61.0×34.0 (74.0×56.5)
77	帽子の少女 Girl wearing a hat	昭和52年 1977	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×38.0
78	婦人像 Portrait of a woman	昭和53年 1978	油彩・キャンバス Oil on canvas	41.0×27.5
79	朝のひとつとき(第40回新制作展出品)のためのエスキース Study of "A moment in the morning"	昭和51年 1976	パステル、水彩・紙 Pastel and watercolor on paper	65.0×50.0
80	描く婦人 Woman drawing a picture	昭和53年 1978	油彩・キャンバス Oil on canvas	100.0×100.0
81	描く婦人(第42回新制作展出品)のためのエスキース Study of "Woman drawing a picture"	昭和53年 1978	パステル・紙 Pastel on paper	58.0×60.0
82	婦人像 Portrait of a woman	昭和54年 1979	油彩・キャンバス Oil on canvas	61.0×46.0
83	婦人座像 Sitting woman	昭和54年 1979	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×38.0
84	婦人 Woman	昭和54年頃 c.1979	パステル・紙 Pastel on paper	40.0×31.0
85	肩掛けの女 Woman wearing a shawl	昭和54年 1979	パステル・紙 Pastel on paper	44.0×36.5
86	リュートを持つ婦人 Woman with a Lute	昭和55年 1980	油彩・キャンバス Oil on canvas	100.0×100.0
87	リュートを持つ婦人(第44回新制作展出品)のためのエスキース Study of "Woman with a Lute"	昭和55年 1980	パステル・紙 Pastel on paper	80.0×80.0
88	婦人像 Portrait of a woman	昭和35年頃 c.1960	油彩・厚紙 Oil on board	37.2×22.5
89	娘たち-D Series of Girls-D	昭和55年 1980	石版・紙 Lithograph on paper	56.5×44.5 (63.0×48.0)
90	花 Flowers	昭和57年 1982	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×38.0
91	婦人像 Portrait of a woman	昭和59年 1984	油彩・キャンバス Oil on canvas	61.0×50.0
92	エステラ Miss Estella	昭和59年 1984	油彩・キャンバス Oil on canvas	65.3×53.0



## 同時開催 小磯良平作品選Ⅳ－油彩－

\*すべて当館所蔵の小磯良平作品

No.	作品名 Title	制作年 Date	技法・材質 Technique and material	寸法 Size(高×横cm)
1	裸婦 Nude Woman	大正13年 1924	油彩・キャンバス Oil on canvas	72.0×52.5
2	自画像 Self-Portrait	大正15年 1926	油彩・キャンバス Oil on canvas	80.2×52.5
3	南仏ロー・ド・カーニュ Cagnes, Southern France	昭和4年 1929	油彩・キャンバス Oil on canvas	38.0×45.5
4	洋和服の二人 Woman in Kimono and Woman in Western Clothes	昭和8-9年頃 c.1933-34	油彩・キャンバス Oil on canvas	91.0×60.2
5	桃とクルミのある静物 Still Life with Peaches and Walnuts	昭和14年 1939	油彩・キャンバス Oil on canvas	60.8×72.9
6	裸婦 Nude Woman	昭和12年 1937	油彩・キャンバス Oil on canvas	130.0×97.0 寄託
7	踊り子 Ballerina	昭和15年頃 c.1940	油彩・キャンバス Oil on canvas	71.7×40.6
8	裁縫する婦人 Woman at Needle Work	昭和15年頃 c.1940	油彩・キャンバス Oil on canvas	64.8×40.8
9	ビルマの人(『ビルマ独立式典図』のためのエスキース) Burmese Man	昭和18年 1943	油彩・キャンバス Oil on canvas	72.6×50.2
10	婦人像 Portrait of Woman	昭和19年 1944	油彩・キャンバス Oil on canvas	73.0×53.0
11	二人の少女 Two Girls	昭和21年 1946	油彩・キャンバス Oil on canvas	79.4×60.0
12	K夫人像 Portrait of Mrs. K	昭和22年 1947	油彩・キャンバス Oil on canvas	80.4×65.5
13	踊り子 Ballerina	昭和23年 1948	油彩・キャンバス Oil on canvas	65.5×53.0 寄託
14	雉のある静物 Still Life with a Pheasant	昭和23年 1948	油彩・キャンバス Oil on canvas	50.2×60.2
15	絵を描く男 Man Drawing a Picture	昭和27年 1952	油彩・キャンバス Oil on canvas	91.0×60.5
16	母子像 Mother and Child	昭和28年 1953	油彩・キャンバス Oil on canvas	91.2×72.9
17	婦人像 Portrait of Woman	昭和31年 1956	油彩・キャンバス Oil on canvas	53.1×45.8
18	婦人像 Portrait of Woman	昭和31年 1956	油彩・キャンバス Oil on canvas	49.5×65.5
19	横向きの裸婦 Nude Woman in a Sitting Posture	昭和31年 1956	油彩・キャンバス Oil on canvas	72.8×60.6
20	室内の少女 Girl in the Room	昭和30年 1956	油彩・キャンバス Oil on canvas	105.7×97.0
21	二人裸婦 Two Figures of a Nude Woman	昭和31年頃 c.1956	油彩・キャンバス Oil on canvas	80.3×65.2
22	かぼちゃのある静物 Still Life with Pumpkins	昭和32年 1957	油彩・キャンバス Oil on canvas	98.8×91.0
23	家族 Family	昭和33年 1958	油彩・キャンバス Oil on canvas	106.1×97.1
24	リュートのある婦人座像 Two figures of a Woman in a Sitting Posture with a Lute	昭和35年 1960	油彩・キャンバス Oil on canvas	85.1×80.5
25	座る二人の裸婦 Mother and Child	昭和35年 1960	油彩・キャンバス Oil on canvas	117.0×91.2
26	アトリエにて In the Atelier	昭和37年 1962	油彩・キャンバス Oil on canvas	79.7×79.7
27	室内のバレリーナ Ballerina in the Interior	昭和42年 1967	油彩・キャンバス Oil on canvas	90.7×90.8
28	時計のある静物 Still Life with a Clock	昭和43年 1968	油彩・キャンバス Oil on canvas	130.6×80.9
29	アトリエにて In the Atelier	昭和49年 1974	油彩・キャンバス Oil on canvas	100.0×100.0
30	婦人像 Portrait of Woman	昭和53年頃 c.1978	油彩・キャンバス Oil on canvas	45.5×38.0
31	舞妓 Maiko	昭和50年 1975	油彩・キャンバス Oil on canvas	40.0×40.0 寄託
32	人形四体 Four Western Dolls	昭和46年 1971	油彩・キャンバス Oil on canvas	63.0×80.0 寄託
33	マヌキャン Mannequin	昭和47年 1972	油彩・キャンバス Oil on canvas	100.2×100.4



神戸市立小磯記念美術館 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL 078-857-5880

## Ⅱ. 普及事業

### 1. 出版物など

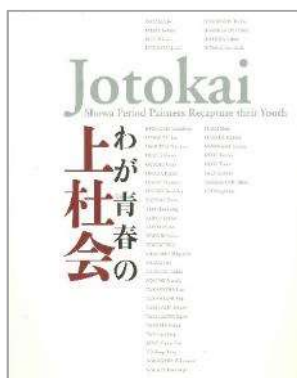
#### ■特別展図録

特別展「わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—」

24.2×19.0cm 200頁

特別展「至高の小磯良平—大野コレクションのすべて—」

26.0×20.0cm 88頁



#### ■美術館だより Vol. 53、54

美術館の活動を広報し、美術に関する話題も提供する。

令和2年9月、令和3年3月発行

A4判8頁



#### ■年報No. 26（令和元〈平成31〉年度）

令和2年3月発行

A4判 70頁

ホームページ上にて公開



■Webページ

平成14年9月15日開設  
 当館について、展覧会、利用案内、小磯良平、普及活動、美術館通信、リンク  
 展覧会スケジュールにあわせて、データ更新(随時)  
<http://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>

■出版物の販売状況

過去に開催した特別展図録などを美術館のミュージアムショップで購入できる。また、郵送も取り扱っている。

出版物の名称	刊行年	販売価格
<b>〈小磯良平および美術館関連〉</b>		
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL. 2	1997年	1,200円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL. 3	1999年	2,000円
小磯記念美術館所蔵作品目録VOL. 4	2005年	1,200円
小磯記念美術館 研究紀要 第1号 小磯良平の作品〔辻〕, 小磯良平とアングル〔廣田〕, 「洋和服の二人(みなとの祭りの日)」と小磯良平の1930年代の作 品について〔金井〕	1996年	700円
小磯記念美術館 研究紀要 第2号 近代挿絵と小磯良平(戦前篇)〔金井〕, 田村孝之介の1945-64年の画業(一)〔廣田〕, 印象—関口俊吾の主題と色彩表現〔辻〕	1998年	700円
小磯記念美術館 研究紀要 第3号 小磯良平と戦争画—従軍の記録と制作の過程〔廣田〕, 小磯良平における群像表現の探求と成果《働く人びと》(1953)に 至るまで〔辻〕	2008年	700円
小磯良平の描いた薬用植物画	1995年 (初版)	2,000円
生誕100年記念特別展 小磯良平の青年時代	2003年	2,000円
開館15周年記念特別展 藤島武二と小磯良平展	2007年	1,800円
小磯良平 聖書のさしえ展	2008年	1,467円
小磯良平ベストコレクション	2017年	1,000円
没後30年小磯良平展—西洋への憧れと挑戦—	2018年	2,000円
夏休み特別企画 神戸の暮らしを“デザイン”する —小磯良平とグラフィックアート—	2019年	1,200円
特別展 至高の小磯良平—大野コレクションのすべて—	2020年	1,300円

〈他作家など〉		
特別展 林重義 没後50年展	1994年	2,000円
特別展 田中忠雄 回顧展	1998年	2,000円
企画展 神戸の洋画・戦後の再出発展	1998年	800円
特別展 川西英と神戸の版画展	1999年	1,800円
特別展 川端謹次展	2000年	1,600円
特別展 田村孝之介と神戸	2000年	1,800円
特別展 明治・大正 神戸生まれの芸術家たち展	2001年	1,500円
特別展 岡田謙三展	2004年	1,800円
特別展 没後50年 内田巖展	2004年	2,000円
特別展 受贈記念 石阪春生展	2006年	2,000円
特別展 西村元三朗回顧展	2006年	1,800円
特別展 日本近代洋画への道	2007年	2,000円
特別展 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展	2008年	2,000円
特別展 小磯良平没後20年記念 子どものいる風景	2008年	1,800円
特別展 中西 勝 展	2009年	1,800円
特別展 没後35年 宮本三郎展	2009年	2,000円
特別展 画家 岸田劉生の軌跡	2010年	2,000円
特別展 古家新とゆかりの画家たち	2010年	1,800円
特別展 没後100年 大下藤次郎展 美しき自然、友人	2011年	1,700円
特別展 昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち	2011年	1,600円
特別展 マリー・ローランサンとその時代展	2012年	1,900円
特別展 自らを見つめる—画家と自画像	2013年	500円
特別展 関西学院の美術家	2013年	2,000円
特別展 新宮晋 地球の遊び方	2014年	1,500円
特別展 生誕120年 川西英回顧展	2014年	2,000円
美術館再開特別企画 コレクション再発見 小磯とゆかりの画家たち	2015年	700円
特別展 国立美術館巡回展 洋画の大樹が根付くまで	2015年	1,200円
特別展 日本近代洋画の巨匠 和田英作展	2016年	1,800円
特別展 パリに生きる パリを描く —M氏秘蔵コレクションによる—	2016年	1,500円
特別展 生誕150年記念 藤島武二展	2017年	2,300円
特別展 神戸市立博物館所蔵 洋画セレクション展	2018年	1,000円
夏休み特別企画 浜口陽三と南桂子展—ふしぎな世界への小さな窓—	2018年	1,500円
特別展 ユニマツコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック展	2017年	2,000円
特別展 黄昏の絵画たち—近代絵画に描かれた夕日・夕景—	2019年	2,200円
特別展 わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—	2020年	2,300円

## 2. 特別展の講演会と関連講座

今年度は、感染症対策のため、実施しなかった。

## 3. 解説会、ギャラリートツアーなど

1年間を通じて、開館中の日曜日の午後2時から、展示室を巡りながら、学芸員が作品を前にして解説するギャラリートツアーを開催した。

感染症対策のため、一部のツアーを中止し、実施の場合も整理券を配布し10人を上限とした。

	特別展 ギャラリートツアー	作品選 ギャラリートツアー
令和 2年度	12回	0回



## 4. オリエンテーション

団体やグループでの来館の場合、事前の申し込みによって、学芸員が15～20分程度のオリエンテーションを行っている。場所は美術館2階の絵画学習室あるいはハイビジョンギャラリーを使用する。また、展示室内でのオリエンテーションも適宜実施している。美術館の概要、あるいは展示作品の紹介（特別展を含む）など、内容は希望によって指定することもできる。

今年度は、感染症対策のため団体での来館を受け付けず、オリエンテーションも実施しなかった。

	利用団体数	利用人数
令和 2年度	0人	0人

## 5. 美術講座

多くの方々により一層美術館に親しんでいただくため、平成9年度より各年度の下半期で6回シリーズとなる美術講座を開催している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催しなかった。

## 6. 連携講座・出前講座等

今年度は、実施なし。

## 7. スタンプラリーの開催

リピーターの確実な確保に向けて、当館オリジナルでスタンプラリーを継続的に実施することとし、台紙を印刷・作成し、来館者に配付した。平成22年度から始め、11年目となる。

令和2年度に実施した4会期の展覧会をスタンプ押印の対象とした。このうちの2会期の展覧会にご来館・ご鑑賞いただいた方を対象に、令和3年度に開催するお好きな展覧会にご招待する企画である。

感染症の影響を受け、スタンプの押印は受付スタッフがを行い、不特定多数による接触が起こらないよう配慮した。



〈表〉



〈裏〉

## 8. RIC（六甲アイランドシティ）内3美術館連携事業

神戸市東灘区にある六甲アイランドシティには、神戸ゆかりの美術館・神戸ファッション美術館・神戸市立小磯記念美術館の3つの美術館が存在している。これまで継続的に月例での事務連絡会議を実施してきている。入館券の提示による相互割引制度を設けている。

## 9. 子供のためのワークショップ「びじゅつかん大作戦」

展覧会の開催にあわせて、作品や美術館に親しむ機会をより広く提供するために「びじゅつかん大作戦」を企画・開催した。感染症の影響を受け、年間実施回数や時間、参加者を絞って再計画した。4回中止となり、4回実施できた。運営に協力いただいていた神戸大学勅使河原ゼミ、シルバーカレッジOB、図工専科OBは参加を見送った。夏休みには、感染症流行下でも実施しやすい来館者プレゼントを行った。アルコール消毒など行い感染症対策を行った上で、虹色カードコーナーを設置し簡単なワークショップを体験できるようにした。

	名称	回数	月日	対象	参加人数
1	夏休み特別企画 来館者プレゼント・虹色カードコーナー	11	7月28日 ～8月14日	幼児～一般	191人
2	びじゅつかん大作戦8月 飛び出すパリの街並みカード	1	8月8日	4歳～中学生	11人
3	びじゅつかん大作戦10月 絵葉書を作ろう	1	10月10日	4歳～高校生	5人
4	びじゅつかん大作戦12月 ミニ・フレームを作ろう	1	12月12日	4歳～中学生	6人
	回数	14		人数	213人

協力（年間を通して）：神戸大学大学院人間発達環境学研究所 勅使河原ゼミ

■夏休み特別企画「来館者プレゼント・虹色カードコーナー」  
 (コレクション企画展示「パリ、フランスへの憧れ」  
 「小磯良平作品選Ⅱ 終戦75年 従軍画家・小磯良平が見たもの」)

日 時：7月28日～8月14日の平日 14:00～16:00  
 対 象：幼児～一般  
 参加人数：延べ191人  
 内 容：夏休みの平日14時～16時に、無料スペースにワークショップコーナーを設置し、虹色カード作りができるワークショップを開催。アルコール消毒を行うなど感染症対策を行った。子供用鑑賞ガイド、虹色カード、こいそさんぬりえのプレゼントコーナーを設置した。



■びじゅつかん大作戦8月「とびだすパリの街並みカード」  
 (コレクション企画展示「パリ、フランスへの憧れ」)

日 時：8月8日(土) 14:30～16:20  
 対 象：4歳～中学生  
 参加人数：11人  
 内 容：展示室で描いた街並みを飛び出す仕組みと組み合わせて、街並みがと飛び出す楽しいカードをつくった。



■びじゅつかん大作戦10月「絵手紙を作ろう」  
 (特別展「わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—」)

日 時：10月10日(土) 14:30～16:20  
 対 象：4歳～中学生  
 参加人数：5人  
 内 容：絵描きたちが交わした手紙を見て、絵と言葉で伝える良さを知り、自分なりの絵と言葉で親しい人に贈る絵手紙を作った。



■びじゅつかん大作戦12月「ミニ・フレームを作ろう」  
 (特別展「至高の小磯良平—大野コレクションのすべて—」)

日 時：12月7日(土) 14:30～16:20  
 対 象：4歳～中学生  
 参加人数：6人  
 内 容：展示室で額縁に注目して鑑賞する。粘土を使い、ミニ・フレームを作り、色々な形や色の装飾を付けた。



## 10. 大人のためのワークショップ

展覧会の開催にあわせて、作品や美術館に親しむ機会を子どもだけではなく、大人の方にも提供するために企画したが、感染症の影響を受け中止となった。

## 11. 学校との連携

活用区分		幼稚園 保育園	小学 校	中学 校	高等 学校	特別支 援学校	大学 その他	学校数	人数
美術館で	団体利用(校数)	1	13	1	1	0	1	17	1278人
	課外活動での利用	0	0	1	1	0	1	3	3人
学校で	出張授業(授業回数)	0	30	2	0	0	0	15	998人
	鑑賞ガイド教材利用	0	8	3	0	0	0	11	1449人
		1	51	7	2	0	2	45	3729人

## ■団体鑑賞

コレクション企画展示「小磯・ポーズ・デッサン」(4/10～7/12)

感染症の影響を受け、学校園は年度2月から5月ゴールデンウィーク明けまで休校となった。学校園からの団体鑑賞は中止となった。

コレクション企画展示「パリ、フランスへの憧れ」(7/18～9/22)

	日付	学校名	学年	クラス数	人数
1	7月23日	兵庫県立北須磨高等学校 美術部	中1～中3	美術部	15
2	8月30日	甲南大学		1	21
3	9月4日	六甲アイランド高等学校 美術デザインコース	2	1	25
計				合計	61人

特別展「わが青春の上社会」(11/16～1/26)

	日付	学校名	学年	クラス数	人数
1	10月9日	神戸市立御影小学校	4	3	90
2	10月15日	ひよどり台幼稚園	5歳児	2	61
3	10月16日	神戸市立宮川小学校	4	2	41
4	10月22日	神戸市立櫻野台小学校	4	2	56
5	11月7日	西宮市立学文中学校	中1～3	美術部	24
6	11月13日	神戸市立高倉台小学校	5	2	77
7	11月18日	神戸市立塩屋北小学校	5	2	49
8	11月19日	神戸市立高羽小学校	5	3	105
9	11月20日	神戸市立高羽小学校	5	3	101
10	11月26日	神戸市立福池小学校	5	4	136
11	11月27日	神戸市立義務教育学校港島学園小学部	4	3	100
12	12月1日	神戸市立宮本小学校	4	2	61
計				合計	901人

特別展「至高の小磯良平 大野コレクションのすべて」(12/24～3/21)

	日付	学校名	学年	クラス数	人数
1	1月21日	神戸市立向洋小学校	4	3	88
2	1月22日	神戸市立向洋小学校	4	2	60
3	1月26日	伊丹市立南中学校	1	3	99
4	1月27日	神戸市立六甲アイランド小学校	3	2	69
5	2月20日	神戸大学			4
計				合計	320人



■ 子供のための鑑賞ガイド（夏休み特別企画、特別展）

特別展の開催に合わせ、展示会場のセルフガイドを兼ねて、学校での展示会紹介や鑑賞学習に活用できるようなガイドを作成。

今年度は感染症の影響を受けイベントの実施が難しいため、夏休み特別企画として来館者プレゼントに子供のための鑑賞ガイドを作成し配布した。

○夏休み特別企画来館者プレゼント 子供のための鑑賞ガイド



○特別展 「わが青春の上社会展」



○特別展 「至高の小磯良平展」



■ トライやるウィーク中止

例年受け入れていたが感染症拡大の影響を受け、中止となった。

## 12. マンスリーコンサート

学芸員と音楽プロデューサー南出卓によるトークショーおよびテーマ作品に合わせた楽曲演奏による「マンスリーコンサート～絵と音の饗宴～」を平成28年度より毎月第3日曜日に開催している。

演奏は、女子弦楽アンサンブルBloom Quartet & Ensemble KANSAI、声楽トリオ ソプラノデュオMuseplus、フルートデュオ&アンサンブルEpicusなど。

感染症対策のため、トークと演奏を無観客で収録し、オンラインで動画配信した。

企画制作&映像制作：Music Inc./総合プロデューサー：南出卓

令和2年4月26日(日)	[小磯作品] 婦人像 (1956年) [演奏] 金子日南(Violin)、山田千愛(Piano)	
5月24日(日)	[小磯作品] 休憩する踊り子 [演奏] 武田知奈津(Violin)	
6月28日(日)	[小磯作品] 舞台のスケッチ [演奏] 武田知奈津(Violin)	
7月26日(日)	[小磯作品] オーヴェル風景 [演奏] 武田知奈津(Violin)	
8月23日(日)	[小磯作品] 翼『新女苑』表紙画 [演奏] Bloom Quartet & Ensemble 小林加奈(Violin)、山田千愛(Piano)	
9月27日(日)	[小磯作品] 夕顔 [演奏] 津田裕貴(Saxophone)、藤本さえ子(Piano)	
10月18日(日)	[小磯作品] 着物の女 [演奏] 十鳥可奈子(Soprano)、藤本さえ子(Piano)	
11月15日(日)	[小磯作品] 化粧 [演奏] Epicus Flute Duo & Ensemble 鷺尾有香(Flute)、藤本さえ子(Piano)	
12月20日(日)	[小磯作品] 朝のひととき (第40回新制作展出品) のためのエスキース 大野ギャラリー蔵 [演奏] 武田知奈津(Violin)	
令和3年1月17日(日)	[小磯作品] 化粧する舞妓、大野ギャラリー蔵 [演奏] 米本彩夏(Piano)	
2月21日(日)	[小磯作品] 昭南にて (富士ホテル) シンガポール 大野ギャラリー蔵 [演奏] 米本彩夏(Piano)	
3月21日(日)	[小磯作品] 読書 大野ギャラリー蔵 [演奏] 武田知奈津(Violin)	

〈閲覧数〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2832	1950	1297	1335	1202	1031	1011	962	406	1206	875	537	14644

## 13. ハイビジョンギャラリー

110インチのハイビジョン(1.37×2.44m)で、当館が作成したオリジナル番組を上映している。  
全41席。現在は土曜日、日曜日、祝日の11時半～15時半に限定して上映している。

### 【上映オリジナルソフト】

「小磯記念美術館」「小磯良平 人と芸術」「小磯良平の版画」「小磯良平 若き日の出会い」  
「小磯良平 画業を語る」「所蔵作品に見る小磯良平 油彩Ⅰ」「所蔵作品に見る小磯良平 油彩Ⅱ」  
「小磯良平 人物画の世界」「小磯良平 風景画・静物画の世界」「六甲アイランド」

※新型コロナウイルス感染症対策のため、緊急事態宣言下は休止しまん延防止等重点措置期間中は席数を減らすなどの対策を実施

## 14. 図書コーナー、ミュージアムショップ

令和元年度からエントランス、図書コーナー、ミュージアムショップを含むロビーまで無料ゾーンとした。  
図書コーナーでは、来館者が自由に画集や美術雑誌を閲覧することができる。また、ミュージアムショップでは、小磯良平作品を中心とした当館オリジナルのミュージアムグッズや当館開催の展覧会図録などを販売している。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、図書コーナーは休止

## 15. ミュージアムカード（定期券）

何度でも美術館を訪れたいというリピーターの方のために、ミュージアムカードを発行している。  
有効期間は1年間で、特別展・収蔵作品選を問わず、いつでも入館できる。  
会員には展覧会案内、美術館だよりなどを送付している。  
大人1,500円、大学生750円

※新型コロナウイルス感染症対策により休館となった期間については有効期間を延長

## 16. 事業一覧 令和2年度(2020)

### 令和2年度(2020年4月～2021年3月) 展覧会スケジュール

#### 小磯記念美術館

	展示室1 ～4/5 人形を描く	展示室2 挿絵原画展	展示室3 小磯作品選IV	その他
4月	コレクション企画展示「小磯・ポーズ・デッサン」 4/10(金)～7月12日(日)【81日間】		《婦人像》受贈記念 小磯良平作品選I	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため4月10日から5月18日まで臨時休館
5月				
6月				
7月	コレクション企画展示 「パリ・フランスへの憧れ」 7/18(土)～9/22(祝)【58日間】	小磯良平作品選II ～終戦75年 従軍画家・ 小磯良平が見たもの		
8月				
9月				
10月	特別展「わが青春の上社会 -昭和を生きた洋画家たち-」 10/3(土)～12/13(日)【62日間】		小磯良平作品 選III-油彩-	館内殺虫
11月				10/3(土)KOBE観光の日
12月				11/21(土)22(日)関西文化の日
1月	特別展「至高の小磯良平 大野コレクションのすべて」 12/24(木)～3/21(日)【70日間】		小磯良平作品選IV -油彩-	2/8(月)展示替
2月				
3月				

### Ⅲ. アトリエ

小磯良平が昭和24年(1949)に武庫郡住吉村字松本（現・神戸市東灘区住吉山手4丁目）に建てた木造2階建てのアトリエを、当美術館の中庭に移築・復元している。アトリエの内部には、画家が使用したイーゼルやパレット、モチーフとなった楽器や人形、家具などを展示して、アトリエでの当時の小磯の作品制作の状況を想像できるような雰囲気を作り出している。また、アトリエに関する解説や写真パネルも展示している。

毎開館日の午前・午後の各1回、アトリエ内でインフォメーション・スタッフによる小磯良平の解説会を行っている。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、インフォメーションスタッフによるアトリエ解説は、緊急事態宣言等の要請による神戸市対応方針により平日の午後1回とし参加人数を8名に縮小した。



中庭に移築・復元されたアトリエ



アトリエ内部

## IV. 収蔵資料

### 1. 令和2年度 収集作品数

作者別	内訳	購 入	寄 贈	保管転換	合 計
	資料の技法・材質				
小磯良平	油 彩				0
	フレスコ				
	水彩・素描				0
	版 画				
	挿絵原画				
	その他（彫刻・陶器など）				
	小 計		0	0	0
他 作 家	油 彩			0	
	水彩・素描				0
	版 画				
	挿絵原画				
	その他（彫刻・陶器など）				
	小 計		0	0	0
合 計		0	0	0	0

### 2. 令和2年度 新収蔵作品・資料

今年度は、美術作品の新収蔵はなかった。

### 3. 館外貸出

貸出先	展覧会名など	貸出期間	作家名	作品名および点数
市長室		令和2年4月1日～3月31日	鴨居玲	油彩： 《ファド（嘆きのうた）》1972年 以上1点
生田文化会館		令和2年4月1日～3月31日	鍵主恭夫	油彩： 《5番扉》1992年 以上1点
勤労会館		令和2年4月1日～3月31日	金井二郎	油彩： 《働く人、人、人》1992年 以上1点
六甲道勤労市民センター		令和2年4月1日～3月31日	北本光雄	油彩： 《路上（ガズニ）》1992年 以上1点
青少年会館 （こうべユースネット）		令和2年4月1日～3月31日	藤田亨	油彩： 《ひとりぼっち》1992年 以上1点
兵庫勤労市民センター		令和2年4月1日～3月31日	岩見健司	油彩： 《積》1994年 以上1点
健康ライフプラザ		令和2年4月1日～3月31日	久川百合子	油彩： 《大きな木》1994年 以上1点
美術館「えき」KYOTO 石川県立美術館 久留米市美術館	没後25年 鴨居 玲展 ※「えき」KYOTOでは開催中止	令和2年4月9日～12月10日	鴨居玲	油彩： 《インディオの男》1965年 《風船と女》1965年 《マントの男》1965年 《二人》1965年 《教会のある広場》1965年 以上5点
豊田市美術館	わが青春の上社会 昭和を生きた洋画家たち	令和2年12月25日 ～令和3年3月21日	小磯良平	油彩： 《ブルターニュ・ソーゾン港》1928年 《青衣の女》1929年 《着物の女》1936年 《化粧》1936年（当館寄託） 《音楽》1954年 《御影の風景》1986年 素描： 《兵士C》1938-41年頃 《兵士E》1938-41年頃 《兵士H》1938-41年頃 《兵士K》1938-41年頃 《中国風景》1938年 《風景》1938年 以上12点

## 4. 特別利用

項目	年度		平成5年度		平成6年度		平成7年度		平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧	1	1			2	3	1	3	1	2	1	1	1	1			1	1						
模写																								
模造							1	2	2	3	2	4	1	4	1	1								
写真撮影							1	1			1	1	1	1										
映画・テレビ撮影	3	20			22	59			1	9	2	16	2	19	1	1	3	11	3	18				
写真掲載	9	19	13	25	22	57	16	99	12	60	12	38	13	29	17	50	11	89	7	41	5	100		
原版使用	6	12	12	26	1	4	17	104	15	65	14	27	15	31	16	49	12	91	6	36	5	100		
紙焼付与	3	7																			1	5		
その他													1	2	2	2								
計	22	59	25	51	47	123	36	209	31	139	32	87	34	87	37	103	27	192	17	100	10	200		

項目	年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧	3	27	3	4	7	7			1	2	3	40	1	1	2	5			2	3	1	2		
模写																								
模造					1	1	1	1	1	3	1	6			1	1								
写真撮影							1	1					1	14						4	8			
映画・テレビ撮影			38	41	21	21	3	22	2	5							2	4	2	31	2	2		
写真掲載	10	31	7	7	41	41	10	43	5	39	12	25	10	75	8	14	17	34	6	12	7	27		
原版使用	7	17	63	72	42	42	10	40	5	628	11	28	9	60	10	16	17	34	2	4	4	13		
紙焼付与	1	6	13	13																				
その他			1	1			1	1					2	8	1	2							2	3
計	21	81	125	138	112	112	26	108	14	677	27	99	23	158	24	42	36	99	16	29	14	45		

項目	年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)	(件)	(点)
熟覧			3	17	1	9			1	25	1	3		
模写														
模造											1	1		
写真撮影			2	2	1	9	1	1	1	4	1	10		
映画・テレビ撮影	1	1												
写真掲載	5	5	12	23	3	4	11	15	7	35	9	18		
原版使用	2	2	12	23	4	5	9	13	7	35	9	9		
紙焼付与														
その他														
計	8	8	29	65	29	27	21	29	16	95	21	41		



## V. 予算

(単位：千円)

年度 内訳	平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度
資料購入費	280,000	280,000	0	200,000	150,000	150,000	120,000	100,000	75,000	31,500	30,000	60,000
資料整理費	36,396	17,018	17,865	16,012	14,219	12,279	11,707	10,675	10,675	10,675	6,728	5,908
展覧会開催費	52,332	35,506	5,091	28,004	44,940	32,791	34,699	51,110	35,547	36,075	35,968	24,924
普及事業費等	29,423	30,989	26,782	25,883	23,057	22,123	20,967	16,262	12,394	12,396	5,156	2,523
管理運営費	123,905	130,848	128,733	123,537	124,045	126,694	117,515	114,305	112,056	109,947	98,875	91,157
アートファンド (美術品取得 基金造成)	80,020	51,800	34,900	0								
開館準備費												
合計	602,076	546,161	213,371	393,436	356,261	343,887	304,888	292,352	245,672	200,593	176,727	184,512

災害復旧 工事費	8,571	57,563
-------------	-------	--------

年度 内訳	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料整理費	5,493	5,191	4,920	4,470	3,823	3,129	3,129	3,082	2,537	2,823	2,863	1,776	2,220
展覧会開催費	29,795	32,499	25,061	37,406	21,144	22,324	21,397	33,839	31,263	35,710	29,607	30,891	32,421
普及事業費等	1,850	1,677	1,540	1,390	3,686	5,454	6,453	793	719	821	979	866	695
管理運営費	78,832	77,649	67,159	66,455	68,301	68,956	67,070	65,215	66,216	63,281	68,179	61,612	57,732
アートファンド (美術品取得基 金造成)													
合計	115,970	117,016	98,680	109,721	96,954	99,863	98,049	102,929	100,735	102,635	101,628	95,145	93,068

内訳	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
資料購入費	0	0	0
資料整理費	1,776	1,776	1,056
展覧会開催費	30,891	29,450	28,829
普及事業費等	866	866	866
管理運営費	61,612	59,764	60,174
合計	95,145	91,856	90,925

## VI. 入館者数

### 1. 月別入館者数

年度	月別	開館日数	入館者総数	有料・無料内訳		階層別内訳			一日平均入館者数
				有料	無料	一般	大学生	高校生以下	
		日	人	人	人	人	人	人	人
令和2年度	4月	5	128	29	99	123	0	5	26
	5月	12	308	160	148	305	2	1	26
	6月	25	621	336	285	595	8	18	25
	7月	23	962	484	478	899	14	49	42
	8月	26	1,494	835	659	1,396	22	76	57
	9月	20	1,599	819	780	1,510	24	65	80
	10月	25	2,455	771	1,684	1,465	16	974	98
	11月	25	2,068	796	1,272	1,418	20	630	83
	12月	16	1,017	385	632	921	11	85	64
	1月	24	1,542	647	895	1,170	24	348	64
	2月	24	2,108	1,156	952	2,032	28	48	88
	3月	18	3,752	1,902	1,850	3,587	44	121	208
	合計		243	18,054	8,320	9,734	15,421	213	2,420

※令和2年4月10日から5月18日まで新型コロナウイルス感染症予防対策により臨時休館。  
 ※5月18日以降は、上記予防のため、3密(密集、密接、密室)等の対策を講じたうえで開館。

### 2. 展覧会別入館者数

区分	展覧会名	コレクション企画展示 小磯・ボーズ・デッサン		コレクション企画展示 パリ、フランスへの憧れ		特別展 わが青春の上社会 —昭和を生きた洋画家たち—		特別展 至高の小磯良平 大野コレクションのすべて		令和2年度 展覧会  入館者合計  (開館238日間)	
		入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数	入館料	入館者数		
有料	一般	個人	200円	397	200円	1276	800円	341	800円	1,099	3,113
		団体	160円	0	160円	0	600円	0	600円	0	0
		割引	160円	193	160円	553	600円	1,029	600円	1,298	3,073
		同 シルバー					400円	295	400円	1,225	1,520
		計		590		1,829		1,665		3,622	7,706
	大学生	個人	100円	18	100円	47	400円	33	400円	84	182
		団体	50円	0	50円	0	200円	0	200円	0	0
		割引	50円	1	50円	4	200円	8	200円	18	31
		計		19		51		41		102	213
	小計		609		1,880		1,706		3,724	7,919	
	ミュージアムカード		69		76		96		131	372	
	有料合計		678		1,956		1,802		3,855	8,291	
	無料		674		1,676		3,406		3,879	9,635	
総合計		1,352		3,632		5,208		7,734	17,926		
一日平均入館者数		28		63		84		110	84		

※平成30年度より特別展も含め高校生以下無料。

※令和2年4月10日から5月18日まで新型コロナウイルス感染症予防対策により臨時休館。

## Ⅶ. 関係法規

### 神戸市立小磯記念美術館条例（平成4年3月31日 条例第50号）

（設置）

第1条 美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示して教育的配慮の下に市民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うことを目的として、神戸市立小磯記念美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

（位置）

第2条 美術館は、神戸市東灘区向洋町中5丁目7番地に置く。

（事業）

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する文献、複製等の資料（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術館資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の美術館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事業

（入館料等）

第4条 美術館に入館しようとする者は、別表に定める額の入館料を納付しなければならない。ただし、特別に展示を行う場合の入館料は、2,000円の範囲内で市長が定める。

2 市長は、美術館の入館について、定期券その他の規則で定める特別入館券を発行することができる。

3 前項の特別入館券の料金は、4,000円の範囲内で規則で定める額とする。

（入館料の納付）

第5条 入館料（前条第3項の料金を含む。次条、第7条及び第13条第1項第3号において同じ。）は、前納しなければならない。ただし、規則で定める特別の理由があるときは、この限りでない。

（入館料の減免）

第6条 市長は、規則で定める特別の理由があるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

（入館料の返還）

第7条 既納の入館料は、返還しない。ただし、規則で定める特別の理由があるときは、その全部又は一部を返還することができる。

（資料の特別利用）

第8条 美術館資料の熟覧、模写、撮影等をしようとする者は、規則で定めるところにより市長の許可を受けなければならない。

（施設の特別利用）

第9条 市長は、第1条の目的を達成するために必要があると認めるとき（規則で定める特別の理由があるときに限る。）は、規則で定めるところにより、美術館の一部の施設の使用を許可することができる。

2 前項の許可の対象となる施設については、規則で定める。

3 第1項の許可に係る施設の使用料は、無料とする。

4 次に掲げる費用は、第1項の許可を受けた者の負担とする。

(1) 第1項の許可に基づく使用に伴う電気、ガス、水道及び下水道（次項において「電気等」という。）の使用料

(2) 市長が前号に掲げる費用に準ずるものと認める費用

5 前項各号に掲げる費用について、電気等の設備を共同して使用することその他の事情により各使用者が使用した電気等の量が把握できないため、第1項の許可を受けた者の負担すべき費用の額が分からないときは、同項の許可を受けた者は、市長が定めた基準により算定した金額を、前項各号に掲げる費用として負担するものとする。

（入館の制限等）

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑をかけ、又は美術館の施設、設備、美術館資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失するおそれがあると認められる者

(2) 美術館の管理上必要な指示に従わない者

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が支障があると認める者

（損害の賠償等）

第11条 入館者は、美術館の施設、設備、美術館資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、市長の指示するところに従い、これを原状に復し、又その損害を賠償しなければならない。

(美術館協議会)

第12条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、美術館に神戸市立小磯記念美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者その他市長が適当であると認める者の中から市長が委嘱する。

3 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に規定するもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第13条 市長は、次に掲げる美術館の管理に関する業務を美術館の管理について地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定による市長の指定を受けたもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

(1) 第3条に規定する事業に係る業務

(2) 美術館の利用及びその制限に関する業務

(3) 美術館の入館料の徴収、減額、免除及び返還に関する業務

(4) 美術館の維持管理に関する業務

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が定める業務

2 市長は、指定管理者の指定をし、又はその指定を取り消したときは、その旨を告示するものとする。

3 指定管理者に第1項の業務を行わせている場合における第6条、第8条、第9条及び第10条の規定の適用については、第6条中「市長は」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者は」と、第8条中「市長の」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者の」と、第9条第1項中「市長は」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者は」と、同条第4項第2号及び第5項並びに第10条中「市長」とあるのは「第13条第1項に規定する指定管理者」とする。

(施行細目の委任)

第14条 美術館の休館日及び開館時間その他この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成4年7月21日教委規則第2号により平成4年11月3日から施行)

附 則(平成16年7月20日条例第13号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日条例第56号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日条例第48号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月29日条例第59号)

この条例は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日条例第49号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(図書館条例等の一部改正に伴う経過措置)

16 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前にこの条例の規定による改正前の神戸市立図書館条例、神戸市都市景観条例、神戸市立博物館条例、神戸市埋蔵文化財センター条例、神戸市立小磯記念美術館条例、神戸市文化財の保護及び文化財等を取り巻く文化環境の保全に関する条例、神戸市風見鶏の館等条例、神戸市生涯学習支援センターその他の施設条例又は神戸ゆかりの美術館条例(以下これらを「旧条例」という。)の規定に基づき教育委員会が行った許可、指定、承認その他の行為でこの条例の施行の際現にその効力を有するもの又は旧条例の規定に基づき教育委員会に対してなされた許可、承認の申請その他の行為でこの条例の施行の際現にその効力を有するものについては、施行日以後にあっては、市長が行った許可、指定、承認その他の行為又は市長に対してなされた許可、承認の申請その他の行為とみなす。

別表(第4条関係)

区分	入館料(1人1日につき)	
	個人利用	団体利用 (30人以上)
大学生	100円	50円
一般	200円	160円

備考

1 この表において「大学生」とは、学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する高等専門学校若しくは大学に在学する学生(高等専門学校にあっては、4年生及び5年生に限る。)又はこれらに準ずる者をいう。

2 この表において「一般」とは、学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校若しくは大学に在学する児童、生徒若しくは学生又はこれらに準ずる者及び同法第1条に規定する小学校に就学するまでの者以外の者をいう。

## 神戸市立小磯記念美術館条例施行規則 (令和2年3月31日 規則第94号)

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市立小磯記念美術館条例(平成4年3月条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 神戸市立小磯記念美術館(以下「美術館」という。)の休館日は、次に掲げる日とする。

- (1) 月曜日(当該日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合は、その翌日以降の日のうち、休日に当たらない最初の日)
- (2) 休日の翌日(当該日が土曜日、日曜日、休日又は前号の規定による休館日に当たる場合を除く。)
- (3) 12月29日から翌年1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認める日

2 市長は、美術館の管理運営上特に必要があると認めるときは、前項第1号から第3号までの規定にかかわらず、これらの日に開館することができる。

(開館時間等)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとする。ただし、入館できる時間は、午前10時から午後4時30分までとする。

2 市長は、美術館の管理運営上特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項の開館時間及び入館できる時間を変更することができる。

(特別入館券)

第4条 条例第4条第2項に規定する特別入館券は、次に掲げるものとする。

- (1) 定期券
- (2) 優待券
- (3) 招待券
- (4) 前売券

2 定期券は、次の表の左欄に掲げる区分に応じそれぞれ同表の右欄に掲げる料金を納めた者に対して発行するものとする。

区分	定期入館料
大学生	750円
一般	1,500円

備考

区分の適用については、定期券を発行した日を基準とする。

3 定期券の有効期限は、当該定期券を発行した日の属する月の翌月の初日から1年を経過した日までとする。

4 市長は、事業上特別の理由があると認める者に対して、無料で定期券を発行することができる。

5 定期券は、当該定期券に記名されている者以外の者は、使用することができない。

6 市長は、前項の規定に違反して使用された定期券を無効とし、回収することができる。

7 市長は、定期券を使用する者が当該定期券に記名されている者であることを確認できる書類の提示を求めることができる。

8 定期券は、再発行しない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

9 優待券及び招待券は、市長が事業上特別の理由があると認める者に対して、発行するものとし、その料金は無料とする。

10 前売券は、市長が事業上必要があると認める場合に発行するものとし、その料金は、その都度市長が定める。(入館料の徴収)

第5条 入館料は、様式第1号による個人入館券又は様式第2号による団体入館券の発行により徴収する。

2 第4条第2項の料金は、様式第3号による定期券申込書に基づいて交付する様式第4号による定期券の発行により徴収する。

3 市長は、特に必要があると認めるときは、前2項に規定する個人入館券、団体入館券及び定期券に代えて別の様式を定め、これにより入館料を徴収することができる。

4 条例第5条ただし書に規定する規則で定める特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

- (1) 国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員が公の目的で入館するとき。
- (2) 国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体がその事業として入館するとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。

#### (入館料の減免)

第6条 条例第6条に規定する規則で定める特別の理由があるときは、次の各号に掲げるときし、当該各号に定めるところにより、入館料を減額し、又は免除する。ただし、特別に展示を行う場合の入館料を減額し、又は免除するときの減額する額又は免除は、その都度市長が定める。

- (1) 学校教育法第1条に規定する学校の教職員が、教育上の目的のために園児、児童、生徒又は学生を引率して入館するとき。免除
- (2) 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条に規定する児童福祉施設(助産施設及び乳児院を除く。)の職員及び職員を補助する者が教育上の目的のために児童を引率して入館するとき。免除
- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳、難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)第7条に規定する医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証又は小児慢性特定疾患承認書の交付を受けている者が入館するとき。免除
- (4) 身体障害者手帳(当該身体障害者手帳に記載された身体障害者等級表による級別が1級又は2級のものに限る。)、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳(当該精神障害者保健福祉手帳に記載された障害等級が1級のものに限る。)の交付を受けている者の介護人がこれらの者とともに入館するとき。免除
- (5) 市内に居住する満65歳以上の者が入館するとき。免除
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。市長が必要があると認める額の減額又は免除

#### (入館料の減免申請等)

第7条 条例第6条の規定により入館料の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ様式第5号による入館申込書兼入館料減免申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、条例第6条の規定により入館料の減額又は免除をしたときは、様式第6号による入館申込書兼入館料減免通知書を交付する。

3 前2項の規定は、前条第3号、第4号又は第5号に該当する者その他市長が特に必要があると認める者には適用しない。ただし、入館の際に、前条第3号に該当する者は同号に規定する手帳等を、前条第5号に該当する者は市内に居住する満65歳以上の者であることを証する書類を提示しなければならない。

#### (入館料の返還)

第8条 条例第7条に規定する規則で定める特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

- (1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰すことのできない理由により入館できないとき。
  - (2) 管理運営上の都合により入館できないとき。
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認めるとき。
- 2 入館料の返還額については、市長が別に定める。

#### (資料の特別利用の許可申請等)

第9条 条例第8条の規定により、美術館資料の熟覧、模写、撮影等(以下「資料の特別利用」という)をしようとする者は、あらかじめ様式第7号による資料の特別利用許可申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定による許可をしたときは、前項の規定のより申請を行った者に様式第8号による資料の特別利用許可書を交付する。

3 資料の特別利用は、美術館内の所定の場所において美術館の係員の指示に従って行われなければならない。

4 前項の規定にかかわらず、市長は、他の美術館、図書館、研究所その他の市長が適当と認めるものに、資料の特別利用のため資料を美術館外に貸し出すことができる。

5 前項の規定による貸出し(以下「館外貸出し」という)を受けようとする者は、あらかじめ様式第9号による館外貸出許可申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。許可された事項を変更しようとするときも同様とする。

6 市長は、前項の規定による許可をしたときは、前項の規定のより申請を行った者に様式第10号による館外貸出許可書を交付する。

7 市長は、第1項及び第5項に規定する許可に美術館の管理運営上必要な条件を付することができる。

#### (資料の特別利用の制限)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、資料の特別利用を許可しないものとする。

- (1) 資料の特別利用によって資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。
  - (2) 現に資料が展示されているとき。
  - (3) 寄託された資料で寄託者の同意を得ていないとき。
  - (4) 著作権者がある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。
  - (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が資料の特別利用をすることを不適当と認めるとき。
- 2 資料の館外貸出しの期間は、3月以内とする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。
- 3 市長は、美術館の都合により必要があるときは、資料の貸出期間中であっても当該資料の返還を求めることができる。
- 4 市長は、資料の特別利用の許可を受けた者が、許可条件に違反したとき又は違反するおそれがあると認められるときは、資料の特別利用許可を取り消し、利用の停止又は返還を命じることができる。

(施設の特別利用)

第11条 条例第9条第1項に規定する規則で定める特別の理由があるときは、次に掲げるときとする。

- (1) 市が共催する事業に利用するとき。
- (2) 市を構成員とする実行委員会が主催する事業に利用するとき。
- (3) その他市長が特に認めるとき。

(施設の特別利用の許可申請等)

第12条 条例第9条第1項に規定する美術館の一部の施設の利用(以下「施設の特別利用」という。)をしようとする者は、あらかじめ様式第11号による施設の特別利用許可申請書を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 市長は、前項の規定により許可したときは、様式第12号による施設の特別利用許可書を交付する。
- 3 市長は、必要があると認めるときは、第3条に定める開館時間以外の時間であっても、第1項の許可をすることができる。
- 4 市長は、第1項の許可に美術館の管理運営上必要な条件を付すことができる。

(対象施設)

第13条 条例第9条第2項の許可の対象となる施設は、次に掲げるものとする。

- (1) エントランス
- (2) 回廊
- (3) ロビー
- (4) 第1展示室
- (5) 第2展示室
- (6) 第3展示室
- (7) ハイビジョンギャラリー
- (8) 絵画学習室
- (9) 展示準備室
- (10) 写真撮影室
- (11) 研究室
- (12) 会議室

(施設の特別利用の制限)

第14条 市長、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の特別利用を許可しないものとする。

- (1) 美術館の運営に支障を及ぼすおそれがあると認めるとき。
  - (2) 当該施設が利用(準備及び撤収作業を含む。)されているとき。
  - (3) 前号に掲げるもののほか、市長が施設の特別利用をすることを不適当と認めるとき。
- 2 市長は、美術館の都合により必要があると認めるときは、施設の特別利用を許可した場合であっても、当該施設の特別利用の停止を求めることができる。
- 3 市長は、施設の特別利用の許可を受けた者が、許可条件に違反したとき又は違反するおそれがあると認められるときは、施設の特別利用の許可を取り消し、利用の停止又は退去を命じることができる。

(損害の賠償等)

第15条 資料の特別利用の許可又は施設の特別利用の許可を受けた者は、館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、速やかに市長に届け出てその指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(損傷の届出等)

第16条 入館者は、美術館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その旨を美術館の係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

(入館者の遵守事項)

第17条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示資料に触れないこと。
- (2) 喫煙し、又は所定の場所以外において飲食し、若しくは火気を使用しないこと。
- (3) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (4) 許可を受けずに寄付金品を募集し、物品を販売し、若しくは陳列し、又は飲食物を販売し、若しくは提供しないこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の係員の指示に従うこと。

(販売行為等の禁止)

第18条 入館者は、美術館において、物品その他の物を販売し、又は金品の寄附募集等を行い、若しくは行わせてはならない。ただし、市長の承認を受けた場合はこの限りでない。

(協議会の会長及び副会長)

第19条 条例第12条に規定する神戸市立小磯記念美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会の委員(以下「委員」という。)の互選により定める。
- 3 会長及び副会長の任期は、委員としての在任期間とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 会長は、協議会の議事その他の会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第20条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて小磯記念美術館長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席等)

第21条 会長は、会議において関係職員の説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(施行細目の委任)

第22条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化スポーツ局長が定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。



## Ⅷ. 日 誌

令和2年 (2020)	4月26日	(日)	コレクション企画展示「人形(ひと)を描く—小磯良平と西洋人形—」(～4月5日) マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	5月19日	(火)	コレクション企画展示「小磯・ポーズ・デッサン」「小磯良平作品選Ⅰ」開催(～7月12日※感染症対策のため、4月10日より開幕を延期)
	24日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	6月28日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	7月		
	7月18日	(土)	コレクション企画展示「バリ、フランスへの憧れ」「小磯良平作品選Ⅱ」開催(～9月22日)
	26日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	28日	(火)	夏休み子供向けワークショップ「虹色カードコーナー」設置(～8月14日)※平日のみ
	8月8日	(土)	びじゅつかん大作戦「飛び出すバリの街並カード」
	23日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	9月27日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	10月3日	(土)	特別展「わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち—」開「小磯良平作品選Ⅲ」催(～12月13日)
	10日	(土)	びじゅつかん大作戦「絵手紙をつくろう」
	18日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	11月14、15日	(土、日)	関西文化の日・ポストカード配布
	15日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	12月4日	(金)	第25回小磯記念美術館協議会開催
	12日	(土)	びじゅつかん大作戦「ミニ・フレームをつくろう」
	20日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	24日	(土)	特別展「至高の小磯良平—大野コレクションのすべて—」「小磯良平作品選Ⅳ」開催(～令和3年3月21日)
	1月17日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	2月21日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)
	3月21日	(日)	マンスリーコンサート(無観客動画配信)

※感染症対策のため、美術講座および4～7、9、11、1～3月の「びじゅつかん大作戦」は中止。

# IX. 建設設備概要

室別面積表 (単位: m<sup>2</sup>)

<b>■展示部門</b>		
・展示室 1		319.4
・展示室 2		283.8
・展示室 3		324.0
・展示準備室		96.7
・アトリエ		94.0
<b>■教育普及部門</b>		
・ハイビジョンギャラリー		78.3
・絵画学習室		90.1
<b>■保管部門</b>		
・収蔵庫		216.7
・収蔵庫前室		56.9
・荷解場		36.6
・搬入庫		43.4
・仮置場		90.8
・倉庫 1		52.4
・倉庫 2		47.0
・倉庫 3		11.6
・倉庫 4		7.8
・文献資料室		96.8
<b>■研究部門</b>		
・研究室		44.1
・写真撮影室		45.8
・暗室		3.9
・会議室		50.3
<b>■管理・一般部門</b>		
・事務室		55.8
・館長室		40.6
・副館長室		21.0
・守衛室		21.2
・喫茶室		81.5
・風除室		24.5
・ロビー		121.2
・回廊・エントランス		467.7
・搬入ヤード		450.2
・設備・機械室		305.0
・その他		291.7
<b>■合計</b>		<b>3,970.8</b>

部門別面積表 (単位: m<sup>2</sup>)

<b>■展示部門</b>		
	1F	1,117.9
	2F	1095.4
<b>■教育普及部門</b>		
	1F	78.3
	2F	90.1
<b>■保管部門</b>		
	1F	613.0
	2F	47.0
<b>■研究部門</b>		
	1F	144.1
<b>■管理・一般部門</b>		
	1F	1,880.4
	1F	1517.2
	2F	363.2
<b>■合計</b>		
	内訳) 1F	3,448.0
	2F	522.8

## ■建設概要

- 所在地 神戸市東灘区向洋町中5丁目7 (六甲アイランド公園内)
- 敷地面積 33,041.01m<sup>2</sup>
- 建築面積 1,516.12m<sup>2</sup>
- 内部仕上げ

### <玄関ホール、回廊>

床: 花崗岩ジェットバーナー仕上、一部本磨き  
 壁: 釉薬タイル(4丁掛)、花崗岩ジェットバーナー仕上  
 天井: 天然木化粧シート張(ナラ)  
 回廊周リガラス: 紫外線防止フィルム入り合わせガラス(8+8)

### <展示室1・2・3>

床: カーペット敷、t=7mm、ボーダー花崗岩本磨き  
 壁: クロス張  
 天井: クロス張

### <ハイビジョンギャラリー>

床: タイルカーペット、t=7mm  
 壁: 天然木化粧シート張(ナラ)  
 天井: ロックウール化粧吸音板、EP塗装

### <収蔵庫>

床: プナフローリング t=18mm、合板 t=12mm、垂鉛鉄板 t=0.3下地  
 壁: 特殊木質系調湿繊維板、t=25mm  
 天井: 天然木化粧板、単板張(セン)

### <ロビー>

床: タイルカーペット、t=7mm  
 壁・天井: 天然木化粧シート張(ナラ)

### <喫茶室>

床: ナラフローリング、花崗岩ジェットバーナー仕上  
 壁: プラスター塗  
 天井: 天然木化粧シート張(ナラ)

### <構造>

主体構造: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート、  
 展示室屋根 BOX型PC桁敷設

基礎: SC、PHC杭基礎

### ●外部仕上げ

屋根: 平瓦葺(いぶし銀)  
 軒先: ステンレスフッ素樹脂塗料焼付塗装 t=0.4 一文字葺  
 外壁: 釉薬タイル(4丁掛)、ふくりん目地  
 花崗岩ジェットバーナー仕上  
 建具: ステンレス製フッ素樹脂塗料焼付塗装

●延床面積 3,970.81m<sup>2</sup>

●構造規模 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造

地上2階

### ●工期

平成2年11月~平成4年3月

### ●建築設計・監理

神戸市住宅局営繕部

株式会社徳岡昌克建築設計事務所

### ●施工

建築工事: 竹中・銭高・三井建設共同企業体  
 電気設備工事: ミナト・大藤・大宮・日の丸建設共同企業体  
 給水・衛生・空調・ガス設備工事: 第一工業株式会社  
 昇降機: 日本エレベーター製造株式会社

## ■設備概要

- 電気設備 高压受電: 契約電力220kW(デマンド契約)  
 予備電源: 発電機 90KVA  
 電灯: 非常用照明  
 防災: 自火報、非常放送、誘導灯、自動閉鎖(防火戸)  
 弱電: 時計、インターホン、テレビ共同受信、ガス漏れ  
 警報防犯(熱線センサー)、ITV、非常呼出
- 給排水設備 給水: 量水器口径75mmにて引込直圧式  
 排水: 汚水、雑排水とも直接下水本管に放流
- 防災設備 屋内消火栓、ハロンガス消化設備(展示室、収蔵庫)
- ガス設備 都市ガス
- 空調設備 方式: 収蔵庫、展示室、ホール、回廊/単一ダクト方式  
 管理諸室/ファンコイルユニット、パッケージエアコン  
 冷暖房方式: 熱源/ガス吸収式冷水発生器、  
 100RT、空冷ヒートポンプ式チリングユニット  
 空気調和器: エアハンドリングユニット 6台  
 ファンコイルユニット 18台  
 カセットパッケージ (各種フィルター) 15台
- 昇降機設備 乗用11人(速度45m/min) 油圧式(身体障害者対応)

## X. 神戸市立小磯記念美術館協議会・組織

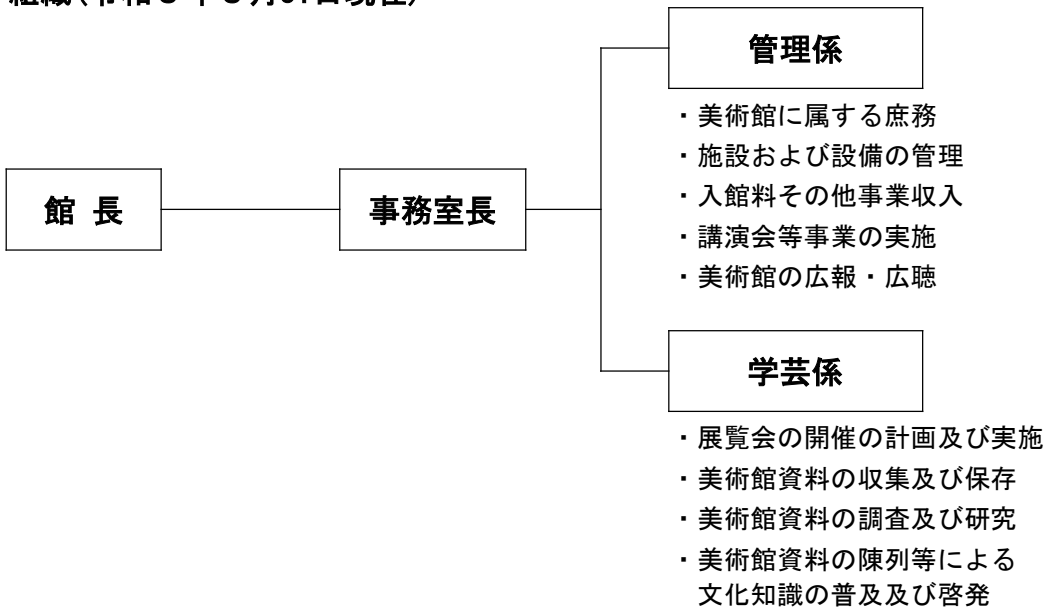
### 美術館協議会

会長 熊田司 関西学院大学講師 元和歌山県立近代美術館館長

委員 岡田修平 兵庫県造形教育連盟会長  
 加藤巡一 神戸市青少年育成協議会委員  
 玉森たりほ 神戸市婦人団体協議会理事  
 増野俊則 元神戸新聞社論説委員  
 山脇佐江子 独立行政法人国立美術館幹事  
 山田莉緒 甲南大学文学部日本語日本文化科  
 (順不同)

●第26回美術館協議会 令和2年12月4日(金) 開催  
 (於 神戸市立小磯記念美術館 絵画学習室)  
 議題 (1) 美術館の運営状況について  
         神戸市立小磯記念美術館  
         神戸ゆかりの美術館  
 (2) その他

### 組織(令和3年3月31日現在)



### 職員(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

館長	岡泰正	●管理係		●学芸係	
事務室長	荒木武文	管理係長	中村晋輔	学芸係長	廣田生馬
			山下悟	指導主事	北川真澄
			槇久美子	学芸員	高橋佳苗
				学芸員	多田羅珠希

**神戸市立小磯記念美術館 年報 No. 26**  
〈令和2年度〉

発行年月日 令和4年3月31日

編集・発行 神戸市立小磯記念美術館  
〒658-0032  
神戸市東灘区向洋町中5丁目7  
Tel 078-857-5880  
Fax 078-857-3737